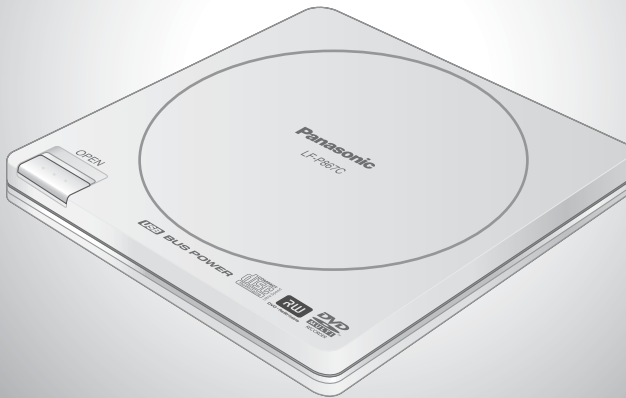
Panasonic®

ポータブルDVD MULTIドライブ

取扱説明書

品番 LF-P867C

保証書別添付

このたびは、パナソニック ポータブルDVD MULTI ドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  特に「安全上のご注意」（6～9ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
  お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

お使いいただくまえに

本機をパソコンで正しくご使用いただくためには、以下の確認・操作を行う必要があります。

正しくお使いいただくために（本書）	本機を正しくお使いいただくための説明 はじめによくお読みください ● パソコンと本機を接続する ● パソコンに DVD-RAM ドライバーをインストールする ● セットアップを確認する

（CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM ドライブとしてご使用いただけます）

DVD ビデオ再生ソフト	● PowerDVD をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（DVD ビデオをご覧いただけます）

DVD-Video 編集ソフト	● PowerProducer をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（映像を編集し、DVD-Video 形式のディスクを作成できます）

記録（書き込み）ソフト	● B’s Recorder GOLD / B’s CLiP をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（各ソフトの対応メディアにデータを記録できます）

DVD-RAM 対応編集ソフト	● DVD-MovieAlbum をインストールする （使用方法についてはクイックガイドをよくお読みください。）

（DVD-RAM の映像を編集できます）

（付属アプリケーションのバージョンなどは省略しています。また各アプリケーションで作成したディスクは、これらのディスクに対応したすべての機器での再生を保証するものではありません。）

本機の特長

■ 携帯性に優れた薄型コンパクトデザイン
■ AC アダプター・USB バスパワーの 2電源対応※1
■ 1台で DVD-RAM/R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW 9種類の記録に対応

フォーマットタイプ	ディスクタイプ	記録	再生
DVD フォーマット	DVD-RAM※2片面4.7GB/1.4GB　両面9.4GB/2.8GB	●	●
	DVD-RAM※2片面2.6GB	―	●
	DVD-R　(for General Ver.2.0/2.1)	●	●
	DVD-RW　(Ver.1.1/1.2)	●	●
	DVD-R DL (Ver.3.0)※3	●	●
	+R　(Ver.1.0/1.1/1.2)	●	●
	+RW　(Ver.1.1/1.2)	●	●
	+R DL (Ver.1.0)※3	●	●
	DVD-Video、DVD-ROM	―	●
CD フォーマット	CD-R	●	●
	CD-RW	●	●
	CD-ROM、音楽CD、CD-EXTRA、Photo CD、Video CD	―	●

■ DVD ビデオレコーダーで録画されたディスクの再生に対応
■ 各種アプリケーションを付属

映像系アプリケーション

PowerProducer ※4

DVD-Video・ビデオレコーディングフォーマットのディスク作成・編集ソフト

DVD-MovieAlbum ※5

DVD-RAM ビデオレコーディングフォーマット編集ソフト

PowerDVD ※4

DVD-Video 再生ソフト（CPRM 対応版）

データ系アプリケーション

B's Recorder GOLD

ライティングソフト

多彩な書き込み機能に加えセキュリティ機能付きのデータ CD/DVD 作成対応に機能アップ。

B's CLiP ※6

パケット記録ソフト

*1 パソコン本体の USB バス電源供給性能により、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
PCI ボード・PCMCIA カードに接続される場合や他の USB 機器と併用される場合は、AC アダプターをご使用ください。

*2 DVD-RAM のカートリッジタイプのディスクは､ディスクを取り出してご使用ください。
カートリッジから取り出せない TYPE1 ディスクは、ご使用できません。
両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。

*3 本機以外で DVD-R DL、+R DL のディスクをご使用の場合は、DVD-R DL、+R DL に対応したドライブやプレーヤーが必要です。

*4 CPRM で著作権保護された映像を再生するためには、最初にインターネット接続での認証が必要です。

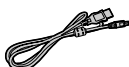
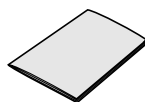
*5 CPRM で著作権保護された映像を扱うためには、CPRM アップグレードキットの購入が必要です。

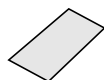
*6 付属の B's CLiP は、CD-R、DVD-RAM/R/R DL、+R/R DL の記録には対応していません。

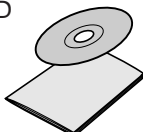
付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

付属品

- □ **専用 USB ケーブル**
  (中国製)
  (品番：K1HA059D0005)

- □ **取扱説明書**

- □ **AC アダプター**
  (中国製)
  (品番：KX-WZ712)

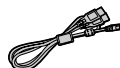
- □ **保証書**

- □ **電源コード**
  (中国製)
  (品番：K2CA29A00017)

- □ **CD-ROM**
  - B's Recorder GOLD
  - B's CLiP
  - PowerDVD
  - PowerProducer
  - DVD-MovieAlbum
  - DVD-RAM ドライバー
  - 本機および各社電子マニュアル(本書)

- □ **ケース(クイックガイド)**
  ※ケースにシリアル番号があります

- □ **B's Recorder GOLD/B's CLiP クイックガイド**
- □ **PowerProducer/PowerDVD クイックガイド**
- □ **DVD-MovieAlbum クイックガイド**

- 付属品を開封前に、必ず「エンドユーザーライセンス契約書」(☞ 88〜89ページ)をお読みください。
- イラストは現物と一部異なる場合があります。
- 付属品の内容は予告なく変更される場合があります。

別売品

- **コンバインケーブル**(中国製　品番：KXL-P301AN)★
  ※ 動作検証状況は
  http://panasonic.jp/p3/pro/lfp867c.html をご確認ください。

付属品・別売品は販売店でお買い求めいただけます。販売店へ上記品番でご注文ください(付属品はサービスルート扱いとなります)。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

パナセンスカスタマーセンター
TEL：06-6907-9144

http://www.sense.panasonic.co.jp/

もくじ

はじめに

準　備

使　う

必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

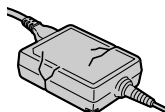
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・AC アダプターについて

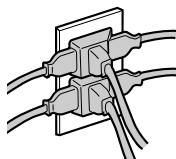
電源コード・電源プラグ・AC アダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、布などをかぶせたりしない）

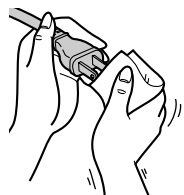
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

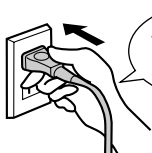
⚠ 警告

電源コード・AC アダプターについて

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

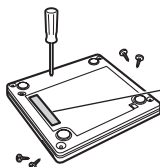
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

⚠ 警告

ご使用について

絶対に本機を分解したり、修理・改造しない

本機は、クラス1レーザ製品です。
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

- 内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

もし異常が起こったら

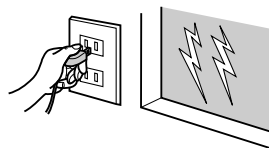
異常が発生した場合は、電源プラグを抜く

- 煙が出ている、異臭・異音がする
- 異常に熱い
- 本体が破損した
- 本体内に異物が入った

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

雷について

雷が鳴りだしたら、電源プラグ、AC アダプターや本機の金属部に触れない

感電の原因になります。

⚠ 注意

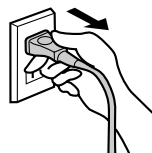
ご使用について

電源プラグを接続したまま移動しない

禁　止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁　止

AC アダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※ の原因になることがあります。

※ 低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

ディスクの回転中に本機を移動・振動させない

禁　止

ディスクが外れて、ディスクを傷つける原因になります。

ひび割れや補修したディスクは使用しない

禁　止

ディスクが割れてけがの原因になります。

正しくお使いいただくために

使用場所について

■**夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください**
変形・変色または故障の原因になることがあります。

ご使用について

■**専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブル以外は使用しないでください**
本機やパソコンの故障の原因になることがあります。

■**水や湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）で使用しないでください**
故障の原因になることがあります。

■**本機やディスクを結露した状態で使用しないでください**
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- ディスクを取り出し約１時間放置したのち、ご使用ください。

■**本機に磁石など磁気をもつものを近づけないでください**
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。

■**本機内部に金属物を入れないでください**
故障の原因になります。

■**レンズに触れないでください**
音とびしたり、データが正常に記録・再生できなくなります。

■**隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは**
- **2 m 以上離してください**
- **同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください**

AC アダプターについて

■**AC アダプターをご利用の際は、付属の KX-WZ712 をご使用ください**
他の AC アダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
長時間ご使用される場合は、AC アダプターでの使用をお勧めします。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

高調波ガイドライン適合品

コピーコントロール CD について

■本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。

■CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

記録（書き込み）について

■本製品の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は保証をいたしません。あらかじめご了承ください。

■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態で記録やバックアップ（複製）を行ってください。

著作権について

■本機を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」と言います）のみ許容されます。

■利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

CPRM での著作権保護について

■CPRM で著作権保護された映像（一部のデジタル放送などで一世代だけ録画が許された映像）を記録した DVD ディスク（DVD-RAM/DVD-R/DVD-RW）の再生には、それぞれのCPRM に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーまたは、それぞれのCPRM に対応したドライブと再生ソフトが必要です。

本書の表記について

■ 特にことわり書きのない場合、Windows 2000、Windows XP を総称して「Windows」と表記しています。

■ アプリケーション名の表記は、特にことわり書きのない場合、バージョン（下記 ＊ 表記）などは下記のように省略しています。

- PowerProducer ＊ / Gold を総称して「PowerProducer」と表記しています。
- PowerDVD ＊ を総称して「PowerDVD」と表記しています。
- B's Recorder GOLD ＊ BASIC / Security を総称して「B's Recorder GOLD」と表記しています。
- B's CLiP ＊ を総称して「B's CLiP」と表記しています。
- DVD-MovieAlbumSE＊ を総称して「DVD-MovieAlbum」と表記しています。

■ 特にことわり書きのない場合、専用 USB ケーブル、コンバインケーブルを総称して「USB ケーブル」と表記しています。

■ 特にことわり書きのない場合、データの「書き込み」や「記録」については、「記録」と表記し、「読み込み」、「読み出し」や「再生」については、「再生」と表記しています。

■ アプリケーションソフトのユーザーインターフェースやダイアログボックスに表示されているアイコン名、ボタン名、タブ名、タグ名などは、[xxx] で表記しています。（例：［再生］）

■ アイコン、ボタン、フォルダ などにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押して離す操作を「クリック」、クリックを素早く2回行うことを「ダブルクリック」と表記しています。

■ マウスの右ボタンを押して離す操作を「右クリック」と表記しています。

■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動し、目的の位置で離す操作を、「ドラッグ＆ドロップ」と表記しています。

■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動する操作を、「ドラッグ」と表記しています。

■ ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン（ラジオボタン）にポインタを合わせてクリックし、チェックされた状態にすることを「チェックする」または、「チェックを付ける」と表記しています。

■ ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン（ラジオボタン）にポインタを合わせてクリックし、チェックされていない状態にすることを「クリアする」または、「チェックを外す」と表記しています。

■ 守っていただきたい内容、気をつけていただきたい内容などは、「お願い」、「お知らせ」として表記しています。

Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（以下 Windows 2000）

Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。（以下 Windows XP）

使用できるディスクについて

本機では、次のディスクが使用できます。

再生対応ディスクとマーク	
DVD-ROM	DVD-Video※1
CD-ROM/CD-ROM XA	Video CD※2
CD-DA（音楽CD）	CD-EXTRA
CD TEXT※2	Photo CD※3

記録・再生対応ディスクとマーク	
DVD-RAM※4	・カートリッジなし ・カートリッジあり （TYPE2、TYPE4に限ります）
DVD-R/R DL	DVD-RW
+R/R DL	+RW
CD-R	CD-RW

*1 再生可能な DVD-Video は、再生可能地域コード（リージョンコード） (2 を含むもの）または (ALL) の表示があるものです。他の地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。設定変更は 4 回までです。 4 回目以降の変更はできません。

*2 付属アプリケーションを使用することにより、再生が可能です。

*3 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

*4 DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしか、カートリッジから取り出し可能な TYPE2 または TYPE4 のものに限ります。（☞ 17ページ）

DVD ビデオレコーダーで録画したディスクに関するお知らせ

- 一世代だけ録画が許された CPRM で保護された映像の再生には PowerDVD をご使用ください（DVD-MovieAlbum で、保護された映像を扱うには CPRM アップグレードキットの購入が必要です）。
- DVD-R/RW, +R/RW ディスクのコピーは、B's Recorder GOLD のディスクコピーを、DVD-RAM ディスクのコピーは「DVD-MovieAlbum コピーツール」をお使いください（著作権保護が付加されたもののコピーには対応しておりません）。

付属アプリケーションと使用ディスクについて

本機付属のアプリケーションと使用できるディスクの関係は以下のようになります。

ディスク	サポート形式 (ディスクフォーマット)	付属のアプリケーション名（バージョン等は省略しています）					
		DVD-RAM ドライバー	B's Recorder GOLD	B's CLiP	DVD-MovieAlbum	Power Producer	Power DVD
DVD-RAM	UDF/FAT32	リード/ライト	ー	ー	ー	ー	ー
	UDF Bridge※1	ー	作成	ー	ー	ー	ー
	-VR※2	ー	ー	ー	作成/再生/編集	作成/編集	再生
	DVD-Video	ー	ー	ー	ー	ー	再生
DVD-R, -R DL, +R, +R DL	UDF Bridge	ー	作成	ー	ー	ー	ー
	DVD-Video※3	ー	ー	ー	ー	作成	再生
DVD-RW, +RW	UDF	ー	ー	リード/ライト	ー	ー	ー
	UDF Bridge	ー	作成	ー	ー	ー	ー
	DVD-Video※3	ー	ー	ー	ー	作成	再生
	-VR※4	ー	ー	ー	ー	作成/編集	再生
	+VR※4	ー	ー	ー	ー	作成/編集	再生
CD-R	データ CD (ISO 9660)	ー	作成	ー	ー	ー	ー
	音楽 CD	ー	作成	ー	ー	ー	再生
	Video CD※5	ー	作成	ー	ー	作成	再生
CD-RW	UDF	ー	ー	リード/ライト	ー	ー	ー
	データ CD (ISO 9660)	ー	作成	ー	ー	ー	ー
	音楽 CD	ー	作成	ー	ー	ー	再生
	Video CD※5	ー	作成	ー	ー	作成	再生

すべての装置・再生ソフトでの再生を保証するものではありません。

※1 本機と B's Recorder GOLD との組み合わせで記録した DVD-RAM ディスクは、B's Recorder GOLD 以外では再生専用メディアとなります。

※2 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した、ビデオレコーディング規格（以下 -VR 規格と表記します）準拠 DVD-RAM ディスクは、DVD-RAM 再生に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。

※3 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した DVD-R/RW, +R/RW ディスクは、DVD ビデオ規格準拠となります。
DVD の各ディスク形式に対応した DVD プレーヤーで再生できます。パソコン上では DVD-Video 再生ソフトを使うと、DVD-R/RW や +R/RW 再生に対応したドライブでも再生できます。

※4 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した、DVD-RW/+RW のビデオレコーディング方式（以下 -VR/+VR 形式と表記します）のディスクは、再生に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RW/+RW に対応した DVD-ROM ドライブでも再生できます。DVD-RW には -VR で、+RW には +VR で記録されますが、-VR と +VR の互換性はありません。

※5 本機と PowerProducer の組み合わせで作成した Video CD 形式の CD-R、CD-RW ディスクは、CD-R、CD-RW ディスクの再生と Video CD（Ver. 2.0）に対応した装置で再生できます。

ディスクの種類と最大データ転送速度

【DVD メディアの場合】

1倍速の転送レート＝1350 KB/s

<table>
<tr><th rowspan="2">ディスク</th><th colspan="2">AC アダプター</th><th colspan="2">USB バスパワー</th></tr>
<tr><th>記録（書き込み）</th><th>再生（読み込み）</th><th>記録（書き込み）</th><th>再生（読み込み）</th></tr>
<tr><td>DVD-RAM（4.7GB）</td><td>5x</td><td>5x</td><td>2x</td><td>2x</td></tr>
<tr><td>DVD-R</td><td>8x</td><td>8x</td><td>4x</td><td>4x</td></tr>
<tr><td>DVD-RW</td><td>4x</td><td rowspan="2">6x</td><td rowspan="2">2x</td><td rowspan="2">4x</td></tr>
<tr><td>DVD-R DL</td><td>2x</td></tr>
<tr><td>+R</td><td>8x</td><td>8x</td><td rowspan="3">2.4x</td><td rowspan="3">4x</td></tr>
<tr><td>+RW</td><td>4x</td><td rowspan="2">6x</td></tr>
<tr><td>+R DL</td><td>2.4x</td></tr>
<tr><td>DVD-Video</td><td rowspan="2">—</td><td>4x</td><td rowspan="2">—</td><td rowspan="2">4x</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM（Single）</td><td>8x</td></tr>
</table>

〔USB2.0 で使用時、詳しくは「仕様」（☞ 86、87ページ）を参照〕

DVD-RAM　：繰り返してデータの記録ができる（リムーバブル）ディスクです。
DVD-ROM　：再生専用のディスクです（映像を記録したものが DVD-Video です）。
DVD-R, +R　：一度だけ記録が可能なディスクです。
（for Authoring タイプの DVD-R へは記録できません。）
DVD-R DL, +R DL　：片面2層タイプの一度だけ記録が可能なディスクです。
DVD-RW, +RW　：記録したデータの消去や書き込み、書き換えが可能なディスクです。

■ DVD-R/RW, +R/RWの記録方式

ディスクアットワンス　：データを一度にまとめてディスクに記録する方式です。追加記録することはできません。

インクリメンタル：「パケット」と呼ばれる単位に分割してデータを記録する方式です。記録するソフトはパケットライトソフトまたは、パケット記録ソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じような記録が可能となります。

DVD-RAM への記録に B's Recorder GOLD を使用すると

エクスプローラー上でのドラッグアンドドロップ操作やアプリケーション上から直接保存などの今までのハードディスクのような使いかたとは別に、CD-R/RW と同様な記録ができます（2.6 GB ディスクを除く）。

特長

- 記録時にベリファイあり/なしを選択できます。
ベリファイなしを選択すると、エクスプローラーや他のアプリケーションで記録する場合（ベリファイあり）に比べて約2倍の速度で記録できます。
- 追加記録ができます（他のソフトでの追加記録はできません）。

ディスクの種類と最大データ転送速度

【CD メディアの場合】 1倍速の転送レート＝150 KB/s

<table>
<tr><th rowspan="2">ディスク</th><th colspan="2">AC アダプター</th><th colspan="2">USB バスパワー</th></tr>
<tr><th>記録（書き込み）</th><th>再生（読み込み）</th><th>記録（書き込み）</th><th>再生（読み込み）</th></tr>
<tr><td>CD-R</td><td>24x</td><td>24x</td><td rowspan="3">4x</td><td rowspan="4">12x</td></tr>
<tr><td>CD-RW</td><td>4x</td><td rowspan="3">24x</td></tr>
<tr><td>CD-RW（High Speed）</td><td rowspan="2">10x</td></tr>
<tr><td>CD-RW（Ultra Speed）</td><td>—</td></tr>
<tr><td>CD-ROM</td><td>—</td><td>24x</td><td>—</td><td>12x</td></tr>
</table>

〔USB2.0 で使用時、詳しくは「仕様」(☞ 86、87ページ) を参照〕

CD TEXT ：音楽CD にタイトルや曲名などの文字情報を記録するフォーマットです。
Photo CD：写真のイメージデータを CD-ROM に記録し、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak 社が開発したフォーマットです。
Video CD ：映画などの動画を MPEG1 方式で圧縮して CD に収めたタイトル、またはそのフォーマットのことです。
CD-ROM ：再生専用の CD です。
CD-R ：一度だけ記録が可能な CD です。記録したデータの消去や書き換えはできません。
記録方式によっては、空き領域に追加記録が可能です。
CD-RW ：記録したデータの消去や書き込み、書き換えが可能な CD です。

■ CD の対応フォーマット

CD-DA（音楽CD） ：音楽CD のフォーマットです。
CD-ROM Mode1 ：デジタルデータを記録するためのフォーマットです。
CD-ROM XA Mode2：マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声・画像を混在させたフォーマットです。
CD-EXTRA ：1つめのセッションにオーディオデータを記録し、2つめ以降のセッションにデータを記録するフォーマットです。

■ CD-R/RW の記録方式

ディスクアットワンス ：データを一度にまとめてディスクに記録する方式です。追加記録をすることはできません。
トラックアットワンス ：トラック単位でデータを記録する方式です。ディスクの容量内で、最大99回までの追加記録が可能です。
セッションアットワンス：セッション単位でデータを記録する方式です。
マルチセッション ：データの記録単位である「セッション」を複数記録する方式です。
パケットライト（パケット記録） ：「パケット」と呼ばれる単位に分割してデータを記録する方式です。記録するソフトはパケットライトソフトまたは、パケット記録ソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じような記録が可能となります。

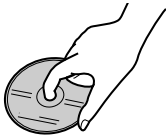
ディスクの取り扱いについて

ディスクは、正しく取り扱いをしないとデータの記録や再生が正常に行われず、データが損なわれたり、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。本書および、ご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。

ディスクの取り扱い

■ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください

ディスクが変形し、データが正常に記録・再生できなくなります。

■ディスクの信号記録面に触れないでください

ディスクが汚れると、データが正常に記録・再生できなくなります。

■乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

■ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください

ディスクが傷つくと、データが正常に記録・再生できなくなります。

- 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

■ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

■ディスクを投げたり、曲げたりしないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に記録・再生できなくなります。

DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **カートリッジなし**
- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面/片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて

ディスクを取り出すには

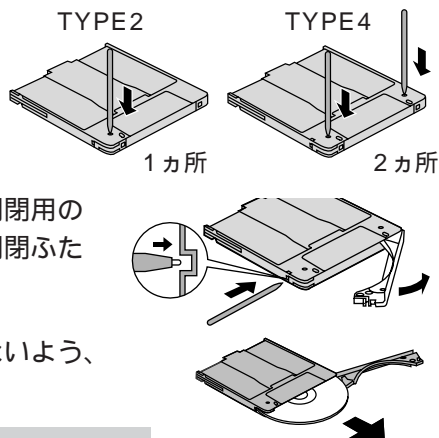
カートリッジからのディスクの取り出しは、以下の手順で行います。

〔イラストは松下電器産業（株）製 12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。
他社のディスクをご使用の場合は、ディスクの取扱説明書をご覧ください。〕

カートリッジからディスクを取り出すときは

1　カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く

2　カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける

3　表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す

ディスクを収納するときは

- TYPE2では、カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- TYPE4では、カートリッジの A 面とディスクの A 面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じた後にライトプロテクトの設定を確認してください。

取り扱い上のお願い

ディスクの取り扱い（☞ 17ページ）と下記内容にお気をつけください。

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
  ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナー※でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

※ ディスククリーナーは LF-K200DCJ1 をご使用ください。

本機に装着する DVD-RAM ディスクにフォーマットや記録ができない場合、いくつかの原因が考えられます。詳細は47ページをご覧ください。

システムの必要条件

対応 パソコン*1	USB ポートを搭載した DOS/V パソコン
対応 OS*2	Windows 2000、Windows XP Professional、 Windows XP Home Edition

■映像系アプリケーション使用時

CPU	Pentium® Ⅲ 700 MHz 以上 （Right-to-Disc 使用時：Pentium® 4 2.2 GHz 以上推奨）
メモリー	128 MB 以上 （Right-to-Disc 使用時：256 MB〔DDR RAM〕以上推奨）
ハードディスク空き容量*3	550 MB 以上（800 MB 以上を推奨） DVD の作成には 10 GB 以上
グラフィック環境・その他	1024×768 ドット以上、16 ビット色以上 DirectX 対応（DirectX 9.0b 以降） 最初の CPRM 映像再生時にインターネットの接続環境が必要

■データ系アプリケーション（記録〔書き込み〕ソフト）使用時

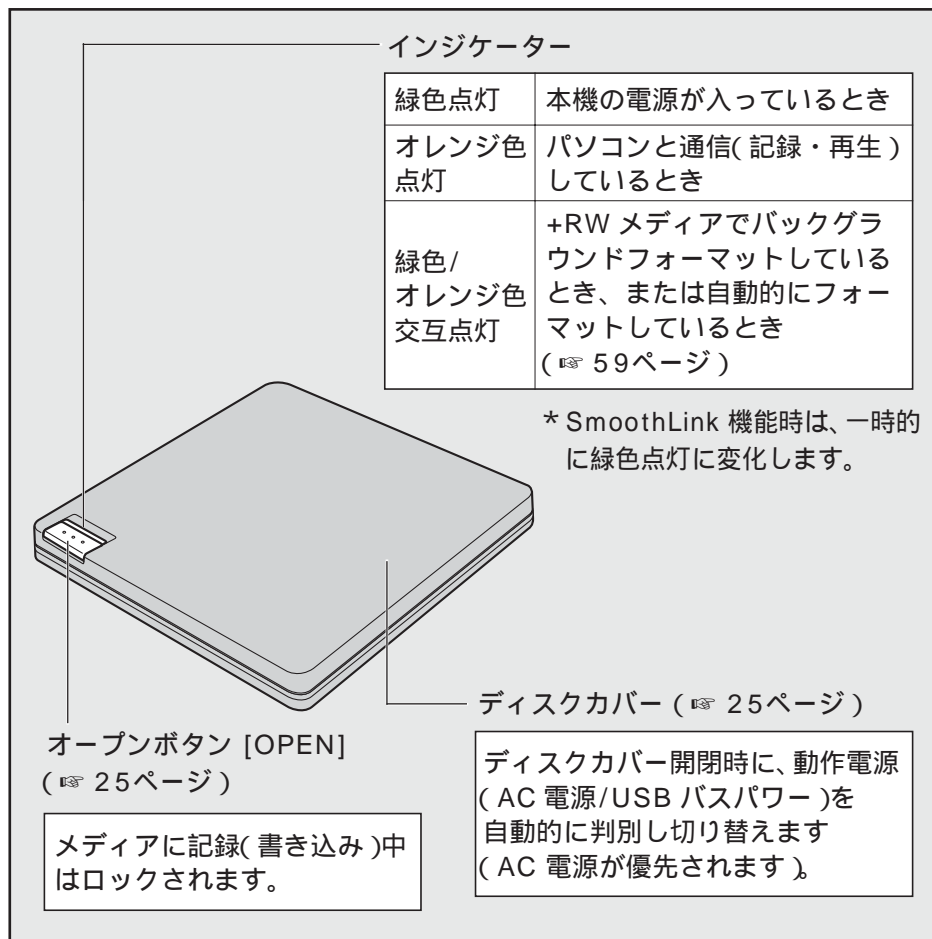
CPU	Pentium® Ⅲ 以降（Pentium® Ⅲ 700 MHz 以上を推奨）
メモリー	128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
ハードディスク空き容量*3	150 MB 以上（800 MB 以上を推奨） DVD の作成には 10 GB 以上
グラフィック環境	800×600 ドット以上、16 ビット色以上 DirectX 対応（DirectX 9.0 以降）

*1 USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。
（USB2.0 で使用するための PCMCIA カードについては、RATOC 社製 REX-CBU2X、I･O DATA 社製 CBUSB2A で動作を確認しています。）

*2 サーバー用 OS、Windows XP Professional x64 Edition などを除く、日本語版

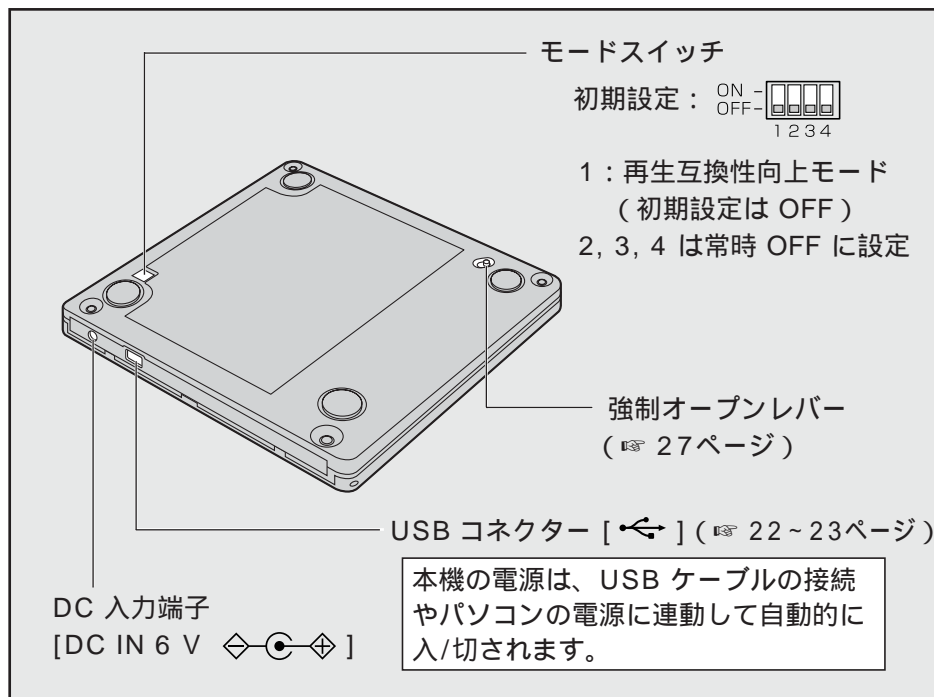
*3 安定した記録を行うには、連続した領域を確保してください。

各部のなまえとはたらき

前面／天面

緑色点灯	本機の電源が入っているとき
オレンジ色点灯	パソコンと通信（記録・再生）しているとき
緑色/オレンジ色交互点灯	+RW メディアでバックグラウンドフォーマットしているとき、または自動的にフォーマットしているとき（☞ 59ページ）

お知らせ

- オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。（☞ 25ページ）
- 本機の電源が入っていない状態でディスクカバーを開くには、27ページをご参照ください。

裏面／背面

+R DL 再生互換性の向上※1について

本機裏面のモードスイッチを、再生互換性向上モードに設定して記録することで、+R DL に対応していない DVD ドライブでも +R DL へ記録された映像が再生できるようになります。設定変更は、パソコンから取り外しボールペンの先などで、スイッチの設定を切り替えてください。

スイッチ	設 定	内 容
1	OFF	+R DL（2層ディスク）へ記録した映像を、+R DL 対応の DVD ドライブで再生する場合に選択します。
	ON	+R DL 未対応の DVD ドライブで、+R DL に記録した映像を再生したい場合にお試しください。（ディスクアットワンス方式※2の記録時のみ有効です。）

※1 すべての DVD ドライブで再生を保証するものではありません。
※2 作成したデータや映像を、まとめて一度に記録する方式で、追加記録はできません。

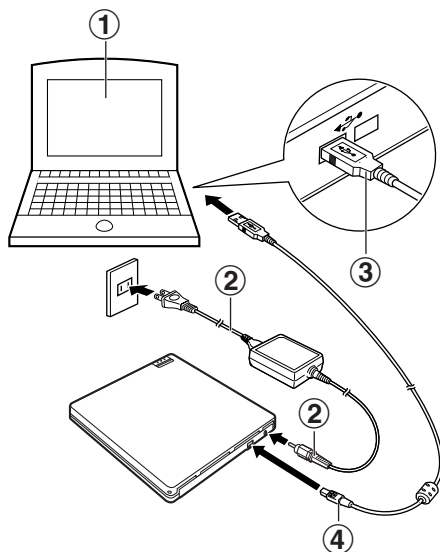
パソコンに接続する

本機は AC アダプターと USB バスパワーの 2電源に対応しています。
長時間使用される場合は、AC アダプターでのご使用をお勧めします。
接続は確実に行ってください。

お願い

- 専用 USB ケーブル以外は使用しないでください。
（本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 長時間使用しないときは、節電のため電源コードを電源コンセントから抜いておいてください。〔AC アダプターを接続した状態でも、約1W の電力を消費しています。（AC 100 V 時）〕
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。

準備

AC 電源で使用する

① **パソコンを起動する**

② **AC アダプターに電源コードを接続し、本機に接続する**

③ **専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む**

④ **専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクターに差し込む**

本機の電源が自動的に入り、インジケーターが緑色に点灯します。

お知らせ

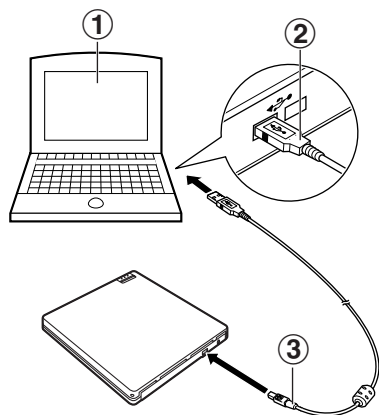
- 本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。
パソコンによっては連動しない場合があります。
- USB ケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入／切されます。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源／USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

USB バスパワー（専用 USB ケーブル）で使用する

本機は、パソコンの USB ポートからの電源供給（USB バスパワー）により、AC アダプターなしでも使用することができます。

お願い

- 本機をパソコンの USB バスパワーで使用する場合、USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。（☞ 63ページ）
  USB ポートの電源供給能力によっては、別売品のコンバインケーブル（☞ 4ページ）が必要な場合があります。
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
  USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入／切されます。パソコンによっては連動しない場合があり、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、専用 USB ケーブルを取り外してください。

接続は確実に行ってください。

① **パソコンを起動する**

② **専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む**

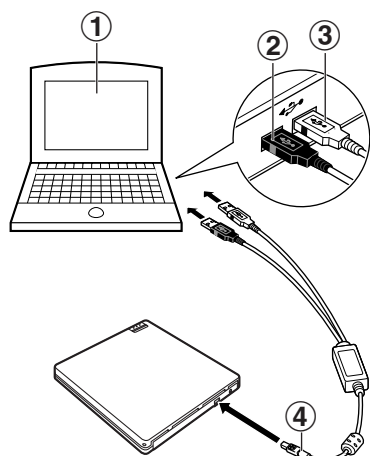
③ **専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクターに差し込む**

本機の電源が自動的に入り、インジケーターが緑色に点灯します。

お知らせ

- PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、AC アダプターでご使用ください。
- USB バスパワーで長時間記録をする場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。

USB バスパワー（コンバインケーブル・別売品）で使用する

コンバインケーブルで使用するには、パソコンの USB ポートが2つ必要です。
接続は確実に行ってください。

① パソコンを起動する

② コンバインケーブルのプラグ（黒・電源側）を、パソコンの USB コネクターに差し込む

③ コンバインケーブルのプラグ（灰色・信号側）を、パソコンの USB コネクターに差し込む

④ コンバインケーブルのプラグ（小さい方）を本機の USB コネクターに差し込む

本機の電源が自動的に入り、
インジケーターが緑色に点灯します。

お願い

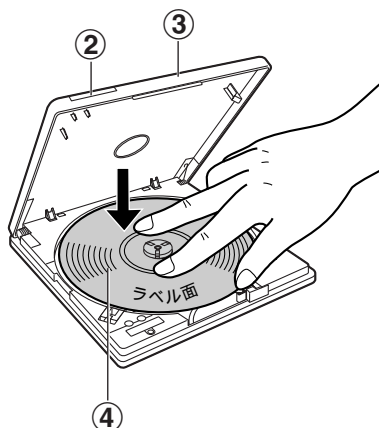
- 別売のコンバインケーブル以外は使用しないでください。
  （本機やパソコン本体を損傷する恐れがあります。）
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
  USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本機の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入／切されます。パソコンによっては連動しない場合があり、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、コンバインケーブルを取り外してください。

お知らせ

- PCI ボード・PCMCIA カードをご使用の場合は、AC アダプターでご使用ください。
- USB バスパワーで長時間記録をする場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。

ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを入れる

① パソコンに本機を接続する（☞ 22ページ）

本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② オープンボタンを押す

ディスクカバーが少し開きます。
（使用中のアプリケーションから ディスクの［取り出し］を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ ディスクカバーを持ち上げる（開く）

④ ディスクを入れる

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえます。

⑤ ディスクカバーを閉じる

お願い

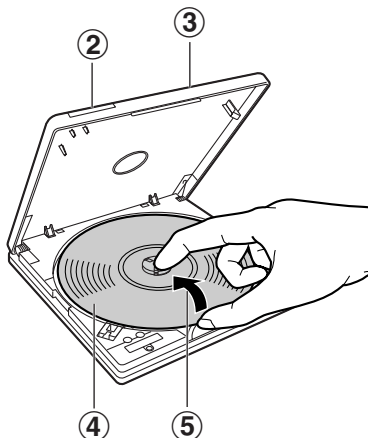
- ディスクは、確実にセットしてください。（確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。）
- 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックを強制解除してください。（☞ 27ページ）

お知らせ

- オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。
- 本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。
- 本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源／USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

ディスクを入れる／取り出す

本機は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを取り出す

① パソコンに本機を接続する（☞ 22ページ）
本機の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② オープンボタンを押す
ディスクカバーが少し開きます。
（本機を使用中のアプリケーションからディスクの［取り出し］を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ ディスクカバーを持ち上げる（開く）

④ ディスクの回転が完全に止まるのを確認する

⑤ ディスクを取り出す
中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

お願い

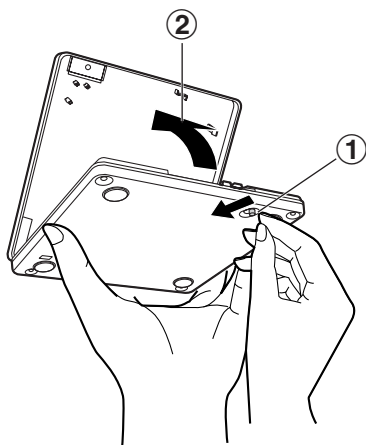
- パソコンと接続して使用している場合は、本機を使用しているアプリケーションを必ず終了させた後で、本機のインジケーターがオレンジ色点灯または交互点灯していないことをご確認ください。（オレンジ色点灯中は、データ通信中のためディスクカバーを開けないでください。）

お知らせ

- B’s CLiP フォーマットされたメディアを使用中または、バックグラウンドフォーマット中（インジケーターは交互点灯）は、ディスクカバーがロックされますので、タスクトレイに表示されているインジケータから［取り出し］を選択して、ロックを解除してください。
- データ記録中はディスクカバーがロックされますので、オープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクが取り出せないときは

■ ディスクカバーロックの強制解除

ディスクにデータ記録中の異常、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かないときや本機の電源が入っていないときは、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

① 本機裏側の強制オープンレバーをスライドさせる

② ディスクカバーを持ち上げる（開く）

お願い

- ディスクの回転が止まらないときは、下記の操作を行い完全に回転を止めてください。
  - ・AC 電源で使用中は、AC アダプターの電源コードをコンセントから抜く
  - ・USB バスパワーで使用中は、専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを本機の USB コネクターから抜く

  回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れることがあります。

セットアップする

本機付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。
付属の CD-ROM からインストールしてご使用ください。
ドライバーソフトは本機を使用するのに必要なソフトです。必ずインストールしてください。

ドライバーソフト

はじめにインストールしてください。

1. DVD-RAM ドライバー
DVD-RAM ディスクの記録・再生を行うためのドライバーとユーティリティです。

■ **フォーマットソフト（DVDForm）**
DVD-RAM ディスクを UDF / FAT32 形式でフォーマットを行うソフトウェアです。

■ **DVD-RAM ディスクライトプロテクトツール（WPTool）**
DVD-RAM ディスクのライトプロテクト設定・解除を行うソフトウェアです。

アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。（☞ 49ページ）

1. ビデオ再生ソフト ························ **PowerDVD**（CPRM対応版）

2. DVD-Video 編集ソフト ··············· **PowerProducer**（CPRM対応版）
（DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW に対応）

3. DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW 記録（書き込み）ソフト

- **ライティングソフト** ··················· **B's Recorder GOLD（Security）**
（DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW、CD-R/RW に対応）
- **パケット記録ソフト** ··················· **B's CLiP**
（DVD-RW、+RW、CD-RW に対応）

4. DVD-RAM 対応編集ソフト ········· **DVD-MovieAlbum**
（DVD-RAM〔-VR〕専用）

本機をご使用いただくための手順とながれ

お願い
- インストールする場合は、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

※ パソコン再起動後は、オープンボタンを押しディスクカバーを完全に開けた後でディスクカバーを閉じてください。CD-ROM が起動しセットアップメニューを表示します。

操作方法の表現は、特に OS 表記がない場合、Windows XP の表現に合わせています。OS が異なる場合は、ご使用の OS 表現に読み替えてください。

Windows のバージョンを確認する

ご使用パソコンの Windows のバージョンを確認します。

Windows XP

タスクバーから［スタート］をクリックし、［マイコンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックすると、［システムのプロパティ］画面が表示されます。

Windows 2000

画面の［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックすると、［システムのプロパティ］画面が表示されます。

「システム」に、「Microsoft Windows XP」または
「Microsoft Windows 2000」の表示があることを確認してください。

OS およびバージョンの表示

お知らせ

- 本機は、サーバー用 OS や Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows NT®、Windows Me、Windows XP Professional x64 Edition には対応していません。

ご使用パソコンの対応 USB を確認する

パソコンの USB ポートで使用する場合、パソコンが USB2.0 に対応していないと、本機は USB1.1 接続ドライブとして動作します。
パソコンが USB2.0 に対応していない場合、市販の USB2.0 インターフェースカードが必要です。
USB のタイプは、ご使用のパソコンの取扱説明書などでお確かめください。

■ USB1.1 で使用する

Windows XP / Windows 2000 では

OS 付属の標準 USB ドライバーで動作します。

↓

「DVD-RAM ドライバーをインストールする」(☞ 33ページ) へお進みください

お知らせ

USB1.1 インターフェース環境で接続された場合

- CD メディアへの記録・再生は4倍速が限度となります。
  また、DVD メディアの記録・再生は1倍速未満の性能となり、記録した画像にリンギングやブロックノイズが発生する可能性があります。
- DVD-Video 再生のときも、こま落ちやブロックノイズが発生することがあります。

DVD メディアや CD メディアへの高倍速記録やDVD-Video の再生は、USB2.0 でのご使用を推奨します。

■ USB2.0 で使用する

USB2.0 対応パソコンの場合

- **Windows XP でご使用の場合**

  Microsoft の Windows Update で Service Pack1 以降 を適用してください（Service Pack2 の適用については、ご使用パソコンのホームページなどで対応状況を事前にお確かめください）。
  「DVD-RAM ドライバーをインストールする」(☞ 33ページ) へお進みください。

- **Windows 2000 でご使用の場合**

  Microsoft の Windows Update で Service Pack4 を適用した後で
  「DVD-RAM ドライバーをインストールする」(☞ 33ページ)へお進みください。

USB2.0 未対応パソコンの場合

はじめに市販の USB2.0 インターフェースカードをパソコンに接続し、ご使用の OS に合わせて USB ドライバーをインストールしてください。
（ご使用カードの最新情報をホームページなどでご確認ください。）

- **Windows XP でご使用の場合**

  Microsoft の Windows Update で Service Pack1 以降を適用してください（Service Pack2 の適用については、ご使用パソコンのホームページなどで対応状況を事前にお確かめください）。

「DVD-RAM ドライバーをインストールする」(☞ 33ページ) へお進みください

- **Windows 2000 でご使用の場合**

  USB ドライバーは Microsoft の Windows Update より提供されていますので Service Pack4 を適用してください。
  インターフェースカードに付属の場合もありますので、カードの取扱説明書や各社ホームページで最新情報をご確認ください。

「DVD-RAM ドライバーをインストールする」(☞ 33ページ) へお進みください

DVD-RAM ドライバーをインストールする

本機をご使用いただくには、 DVD-RAM ドライバーのインストールが必要です。
本機付属の CD-ROM からインストールしてください。

お願い

- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

お知らせ

- 本機付属以外の、DVD-RAM ドライバー、UDF ファイルシステムやパケット記録ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。 DVD-RAM ドライバーを付属のパケット記録ソフト以外と重複してインストールすると、正常に動作しないことがあります。
- インストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

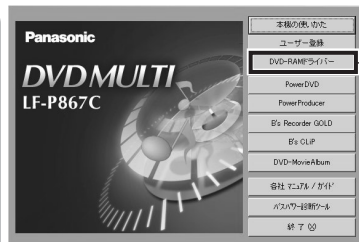
1 パソコンに本機を接続する

「AC 電源で使用する」(☞ 22ページ)をご参照ください。

2 付属の CD-ROM を本機にセットする

「ディスクを入れる」(☞ 25ページ)をご参照ください。
自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の［Asmenu.exe］をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

DVD-RAM ドライバー

3 ［DVD-RAMドライバー］をクリックする

インストール画面が表示されます。

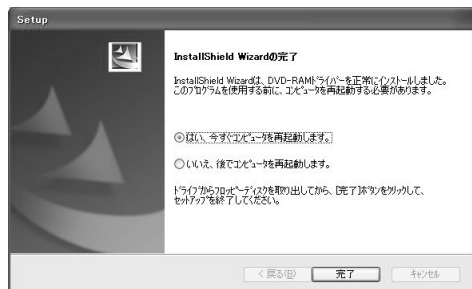
(以降は OS によって操作が異なります。)

Windows XP の場合

4　インストール画面が表示されたら［次へ(N)］をクリックする

インストールが開始されます。

5　インストール終了画面が表示されたら［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］にチェックを付け、［完了］をクリックする

パソコンが再起動し、DVD-RAM ディスクの記録・再生が可能になります。

お知らせ

- **Windows XP で DVD-RAM ディスクをご使用いただくには**
  Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。
  本機では補助ツールで無効にすることができます。有効になった場合は、下記画面が表示されますので、［はい(Y)］をクリックしてください。

以下の方法でも、変更できます。

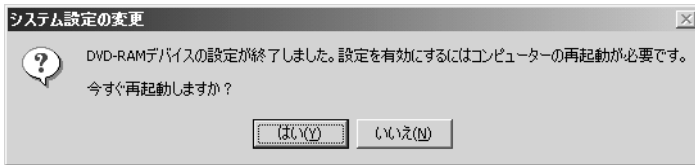
タスクバーから［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックし、DVD-RAM ドライブ（本機）を右クリック、［プロパティ］→［書き込み］をクリックし、［このドライブで CD 書き込みを有効にする］のチェックを外します。

Windows 2000 の場合

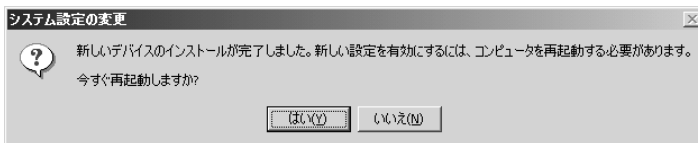
4　インストール画面が表示されたら［次へ(N)］をクリックする

インストールが開始されます。

5　インストール終了後［完了］をクリックする

DVD-RAM ドライバーの検出とシステムの設定が行われます。

6　インストール終了画面が表示されたら［はい(Y)］をクリックする

パソコンが再起動し、DVD-RAM ディスクの記録・再生が可能になります。

再起動後に、下記画面が表示されたら［はい(Y)］をクリックしてください。

セットアップを確認する

1　パソコンと本機を接続する

「AC 電源で使用する」(☞ 22ページ) をご参照ください。

2　本機にディスクを入れないで、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする

本機の接続とドライバーソフトのインストールが正常に行われると、[マイコンピュータ] 上にアイコンが追加されます。

Windows XP の場合

(Windows XP では、1つのアイコンが追加されます。)

DVD-RAM ドライブ (D:)　DVD-MULTI ドライブ用のアイコン

※（　）内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

Windows 2000 の場合

(Windows 2000 では、2つのアイコンが追加されます。)

CD-ROM (D:)

CD-ROM, CD-R/RW, DVD-R/RW, +R/RW, DVD-ROM ドライブ用のアイコン

リムーバブル ディスク (E:)

DVD-RAM ドライブ用のアイコン

※（　）内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

お知らせ

- 正常に表示されない場合、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を選択してください。
- Windows 2000 では、DVD-RAM ドライバーをインストールした後、本機にセットしたディスクの種類によって、操作対象のアイコンが異なります。

パソコンから取り外す

Windows の取り外し操作

専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外す前に、記録（書き込み）ソフトでの記録やデータの再生、音楽再生などの動作を終了し、本機からディスク（メディア）を取り出してください。
本機の取り外しは、パソコン（Windows）側で取り外しの操作をした後に、接続とは逆の順序で行ってください。

お願い

- インジケーターがオレンジ色点灯中または交互点灯中は、
  - 専用 USB ケーブルおよびコンバインケーブルを抜かないでください。
  - AC アダプターを抜き差ししないでください。

  （データ破壊やパソコンの操作が不能になることがあります。操作が不能になった場合には、パソコンの再起動やリセットを行ってください。）
- USB ケーブルの取り外しは、USB プラグ部分を持って取り外してください（ケーブルを引っ張ると本機やパソコン本体の故障の原因となることがあります）。
- 「B's CLiP」をご使用の場合には、タスクトレイに表示されている［B's CLiP］インジケータにポインタを合わせて右クリックし、［取り出し］を選択し、ディスク（メディア）を取り出した後で USB ケーブルを抜いてください。

1 画面右下（タスクトレイ）の［ハードウェアの取り外し］アイコン **をダブルクリックする**

［ハードウェアの取り外し］画面が表示されます。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

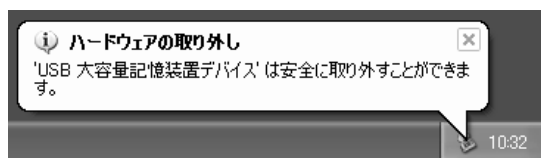
2 ［USB 大容量記憶装置デバイス］を選択し、［停止］ボタンをクリックする

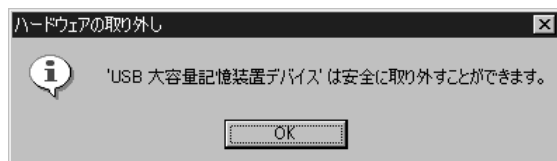
［ハードウェアデバイスの停止］画面が表示されます。

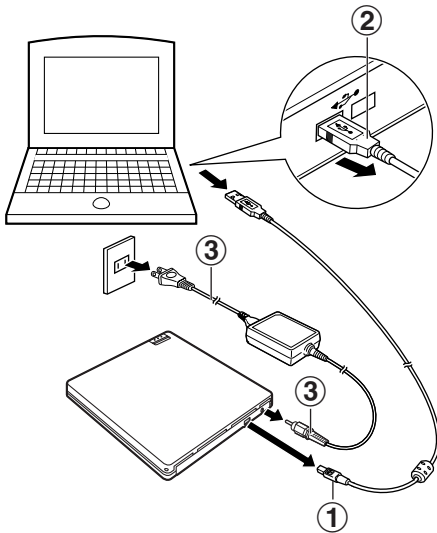
準備

3 ［MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device］が接続されていることを確認し、［OK］をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。
専用USB ケーブルおよびコンバインケーブルを取り外した後に、
［ハードウェアの取り外し］画面を閉じてください。

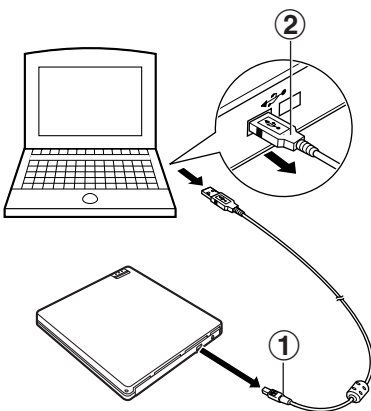
■ Windows XP の場合

（しばらくすると自動的に消えます）

■ Windows 2000 の場合

取り外し

AC 電源の場合

① 本機の USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を抜く

② パソコンの USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）を抜く

③ AC アダプターの電源コードを抜き、本機から電源プラグを抜く

USB バスパワーの場合

① 本機の USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を抜く

② パソコンの USB コネクターから専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）を抜く

〔コンバインケーブルの場合は、灰色（信号側）と黒（電源側）の両方を抜く〕

DVD-RAM ディスクを使う

DVD-RAM を使う

本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

お願い

- カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの記録・再生ができなくなります。

お知らせ

- DVD-RAM ディスクの取り出しかたは、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
- DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを認識するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は、一度ディスクを取り出してセットし直してください。
  ディスクの状態（記録品質、汚れ、傷など）によっては、正常に記録・再生ができない場合があります。

■ DVD-RAM ディスクにファイルを記録するためには、論理フォーマットをする必要があります。論理フォーマットをしたDVD-RAM ディスクは、フロッピーディスクやハードディスクと同じ感覚でファイルを記録することができます。
本機付属のフォーマットソフト（DVDForm）でフォーマットしてご使用ください。

- DVD-RAM ディスクのフォーマット形式は、UDF と FAT32 の形式がありますので、用途に合わせて使い分けてください。
- 両面タイプの DVD-RAM ディスクの場合は、片面ごとにフォーマットしてください。

フォーマットする

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式は、用途に合わせて使い分けてください。

UDF (Universal Disk Format) 形式

DVD の統一標準フォーマットです。ファイルサイズの大きな (画像、音声データ) 記録・再生を高速で行うことができます。

● **UDF 1.5**

・DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS ※1 などの異なる OS 環境でデータ交換ができます。

・UDF 1.5 形式の DVD-RAM ディスク は、「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトでは使えません。

● **UDF 2.0**

・「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラで使用されるディスクは、このフォーマットを使用してください。

FAT32 形式

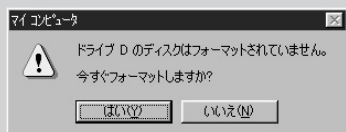
Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

● **FAT32**

・Windows 95 (OSR2※2) / Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP でサポートされたフォーマットです。

・FAT32 形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95 (OSR2※2以外) / Windows NT では使用できません。

お願い

● Windows Me の標準フォーマットソフトで DVD-RAM ディスクをフォーマットしないでください。以下のメッセージが表示されたら [いいえ (N)] を選択してください。

Windows Me に付属の標準フォーマットソフトで DVD-RAM ディスクをフォーマットすると、2 GB を超える FAT 16 形式となり、あとの使用に支障をきたす場合があります。

※1 UDF 1.5 形式の DVD-RAM ディスクの記録・再生ができるのは Mac OS 9です。

※2 システムプロパティの情報が "4.00.950 B" または "4.00.950 C" の OS です。「Windows のバージョンを確認する」(☞ 30ページ) をご参照ください。

使う

フォーマットソフト（DVDForm）でフォーマットする

お願い

- フォーマットソフトの起動前に、 DVD-RAM ディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。
- フォーマットソフトをご使用のときは、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンしてください。
- フォーマットを実行すると、記録されているデータは再生できなくなります。必要に応じて、別のディスクなどにバックアップしておいてください。

お知らせ

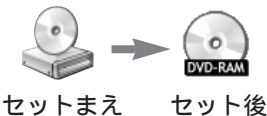
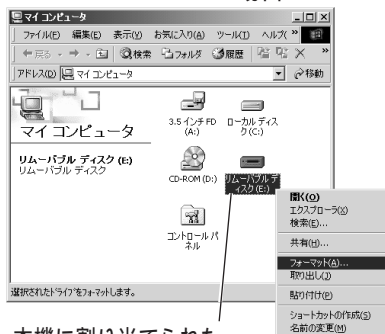
- 本機では 2.6 GB（片面）DVD-RAM ディスクへのフォーマットおよび記録はできません。

1　フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットする

2　［マイコンピュータ］を開き、本機に割り当てられたアイコン（Windows 2000 では、リムーバブルディスク）を右クリックする

Windows XP の場合

本機に割り当てられた「DVD-RAM ドライブ」

セットまえ　セット後

Windows 2000 の場合

本機に割り当てられた「リムーバブルディスク」

3　メニュー中の［フォーマット］をクリックする

DVDFormが起動します。

DVDForm が起動すると下記画面が表示されますので ① ② の順に選択します。

お知らせ

- **物理フォーマットについて**
  DVD-RAM ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。
  （通常は、4.7 GB DVD-RAM ディスクは1時間程度で、8 cm DVD-RAM ディスクは20分程度で終了しますが、ディスクの状態によっては時間が長くなります。）

【推奨フォーマット】

■ パソコンのデータ記録で使用するとき

フォーマット種別［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF 1.5）］を選択します。

- DVD-RAM ディスクで Windows / Mac OS などの異なる環境でデータ交換ができます。

1　フォーマット種別で、［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF 1.5）］を選択する

2　ボリュームラベルを入力する

3　［開始］をクリックする

使う

■ 映像のデータ記録で使用するとき

フォーマット種別［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF 2.0）］を選択します。

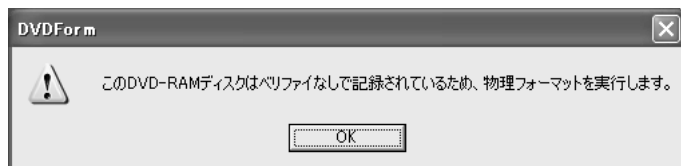
- DVD-RAM ディスクを「DVD-VR 規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のパソコン用記録ソフトで使用するとき、あるいは DVD-RAM を使用する DVD ビデオカメラで使用するときに選択してください。

1 フォーマット種別で、［ユニバーサルディスクフォーマット（UDF 2.0）］を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 ［開始］をクリックする

お知らせ

- Windows XP の場合、フォーマット後に DVD-RAM のアイコンが CD-ROM のアイコンに変わることがあります。
  エクスプローラーの［表示］メニューの［最新の情報］を選択して、表示を更新してください。
- B's Recorder GOLD を使ってベリファイなしで記録した DVD-RAM ディスクをフォーマットするとき、下記画面が表示されます。
  ［OK］をクリックして、物理フォーマットを実行してください。

- DVD-RAM ディスクをフォーマットした場合、使用できる空き容量は以下のようになります。

UDF フォーマットの場合

片面 1.4 GB（8 cm ディスク）…………空き容量　1.3 GB
片面 4.7 GB（12 cm ディスク）…………空き容量　4.26 GB

FAT32 フォーマットの場合

片面 1.4 GB（8 cm ディスク）…………空き容量　1.3 GB
片面 4.7 GB（12 cm ディスク）…………空き容量　4.25 GB

DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールを使う

DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールについて

本機付属の DVD-RAM ディスク ライトプロテクトツールでソフトウェアでの、ライトプロテクトの設定・解除を行うことができます。
カートリッジのない DVD-RAM ディスクでも、ライトプロテクトの設定や解除を行えますので、大切な DVD-RAM ディスクにはライトプロテクトを設定しておくと、誤操作などでのデータ消去を防止できます。

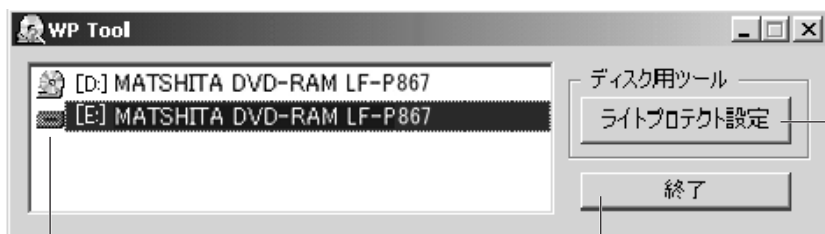
ライトプロテクトの設定／解除

1 本機に DVD-RAM ディスクをセットする

2 タスクバーから［スタート］→［プログラム］→［Panasonic DVD-RAM］→［DVD-RAM ドライバー］→［WPTool］を選択する

（Windows XP では上記の［プログラム］は［すべてのプログラム］と表示されます。）

ライトプロテクト設定／解除ツールが起動します。

3 ① ② の順に選択する

② DVD-RAM ディスクのライトプロテクト設定をクリックします
（ライトプロテクトの設定／解除画面が表示されます。）

ライトプロテクト設定／解除（WPTool）の機能

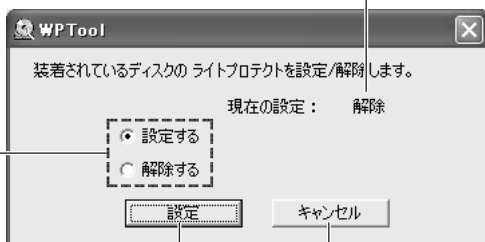
現在装着中の DVD-RAM ディスクのライトプロテクト状態確認と、設定の変更を行います。

① ② の順に選択し設定します

現在装着中の DVD-RAM ディスクのライトプロテクト状態を表示します

① 選択します

[設定する]
ライトプロテクトを設定します
〔DVD-RAM ディスクはリードオンリー（再生専用）になります〕

[解除する]
ライトプロテクトを解除します
〔DVD-RAM ディスクはリードライト（記録・再生）とも可能になります〕

基本画面に戻ります

② 選択したライトプロテクトを設定します
（設定を DVD-RAM ディスクに保存します）

ファイルのコピーやフォーマットができないとき

下記の点をお確かめください。その原因と対処方法を以下に示します。

- **ディスクにライトプロテクトが設定されている**
  ライトプロテクトツールを用いて、ディスクのライトプロテクトを解除してください。(☞ 45ページ)
- **ディスクの汚れなどで記録予備領域(交替領域)を 90% 以上使用し、本機が自動的に書き込み禁止状態になっている**
  再生専用とするか、ディスクに記録されたデータのバックアップをとり、ディスクのお手入れ(☞ 65ページ)や物理フォーマット(☞ 41ページ)を行ってご使用ください。
- **記録を未サポートのディスクである**
  本機は 2.6 GB の DVD-RAM ディスクへの記録には対応していません。

DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクについて

「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の PowerProducer や DVD-MovieAlbum などのパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM ディスクには“ DVD_RTAV ”フォルダーが作成されます。

パソコンでこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。このフォルダー内の一部のファイルは 2 GB を超えているものがあり、容量が 2 GB を超えるファイルは、Windows 98 の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量表示が正しく表示されない場合があります。

また、このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。
パソコンでこれらのファイルにアクセスするには、PowerProducer や DVD-MovieAlbum をご使用ください。
DVD ビデオレコーダーや PowerProducer や DVD-MovieAlbum で作成した映像ディスクのコピーは、DVD-MovieAlbum に付属のコピーツールをお使いください。

各種ディスクを使う

■ CD-R、DVD-R/R DL, +R, +R DL ディスクを使う

付属の B's Recorder GOLD（☞ 56ページ）や PowerProducer（☞ 54ページ）を使用して、データや音楽ディスク、Video CD などの作成、DVD-Video 形式の記録ができます。

お知らせ

- 本機は、マルチセッション、マルチボーダーに対応していますので、対応したソフトでは追加記録ができます。

■ CD-RW、DVD-RW, +RW ディスクを使う

付属の B's CLiP（☞ 56ページ）のフォーマット機能でディスクをフォーマット後に、ファイル単位でデータを記録することができます。
また、B's Recorder GOLD や PowerProducer を使用して、データや音楽ディスクの作成、DVD-Video 形式の記録などもできます。

■ ビデオを再生する

付属の PowerDVD（☞ 51ページ）を使用して、DVD-Video や Video CD、DVD-RAM/-RW/-R、（各ディスクでの -VR 規格）、+RW（+VR 形式）などの映像や CPRM で著作権保護された映像の再生ができます。
また、音楽 CD の再生も可能です。

■ DVD-ROM / CD-ROM ディスクを使う

DVD/CD-ROM の使用方法については、それぞれのディスク（アプリケーションソフト）に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。

■ 音楽 CD を再生する

Windows Media Player や PowerDVD（☞ 51ページ）などで音楽 CD を再生できます。
本機で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。デジタル再生が「有効」に設定されていれば、パソコンに接続されたスピーカー（パソコン内蔵の場合もあります）から音楽を聞くことができます。
（詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。）

アプリケーションをインストールする

■ アプリケーション

本機には、以下のアプリケーションが付属しています。
必要に応じてインストールしてください。

1. ビデオ再生ソフト …………………… PowerDVD（CPRM 対応版）

DVD-Video や Video CD、音楽CD などの再生に対応したマルチメディアプレーヤーで、DVD ビデオレコーダーで録画された CPRM の著作権保護映像にも対応しています（CPRM 映像の再生には、最初にインターネットでの認証が必要です）。

2. DVD-Video 編集ソフト …………… PowerProducer（CPRM 対応版）

DVD ビデオレコーダーと互換性のあるディスクの作成や、DVD ビデオレコーダーで記録した映像の再生、編集などが行えます。

3. DVD-RAM, DVD-R/R DL/RW, +R/R DL/RW, CD-R/RW 記録（書き込み）ソフト …………… B's Recorder GOLD/B's CLiP

B's Recorder GOLD（Security）
CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW、+R/R DL/RW の各種ディスクに対応したライティングソフトウェアで、データの記録から映像や音楽ディスクの作成まで対応した、多彩な記録（書き込み）ソフトです。
セキュリティ機能付きの CD・DVD 作成対応に機能アップしました。

B's CLiP
パケットライト（記録）方式により、DVD-RW、+RW、CD-RW メディアにフロッピーディスクと同じようにファイル単位でデータを記録するための記録（書き込み）ソフトです。

4. DVD-RAM 対応編集ソフト …………………………… DVD-MovieAlbum

DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に準拠した DVD-RAM ディスクの記録・再生・編集を行うソフトです。

■ アプリケーションの削除について

他社または旧バージョンの記録（書き込み）ソフトや DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。
OS によっては表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。

1　タスクバーから［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択する

［プログラムの追加と削除］画面が表示されます。

2　［現在インストールされているプログラム］の一覧で削除するソフトを選択し、［変更と削除］をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。

3　アプリケーションの削除が完了したら、プログラムの追加と削除を終了して、パソコンを再起動する

ビデオ再生ソフトのインストール

■ 付属のビデオ再生ソフトについて

本機にはビデオ再生ソフトとして、CPRM で著作権保護された映像の再生にも対応した、CyberLink 社製 PowerDVD が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お願い

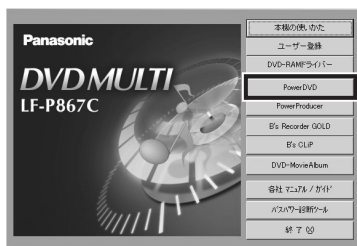
- ご使用のパソコンに、旧バージョンのビデオ再生ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

お知らせ

- インストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

インストールするには

1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

PowerDVD のインストール

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の［Asmenu.exe ］をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

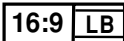
2 ［PowerDVD］をクリックする

PowerDVD のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 インストールが終了したら、［終了(X)］をクリックする

使う

使用するには

通常は、DVD ビデオをセットするだけで自動的に再生が始まります。
（自動再生のオプションが オン に設定の場合）
自動的に再生しない場合は、タスクバーから［スタート］→
［すべてのプログラム］→［CyberLink PowerDVD］→
［CyberLink PowerDVD］を選択してください。PowerDVD の操作パネルは、家庭用ビデオデッキの感覚で操作できます。

お知らせ

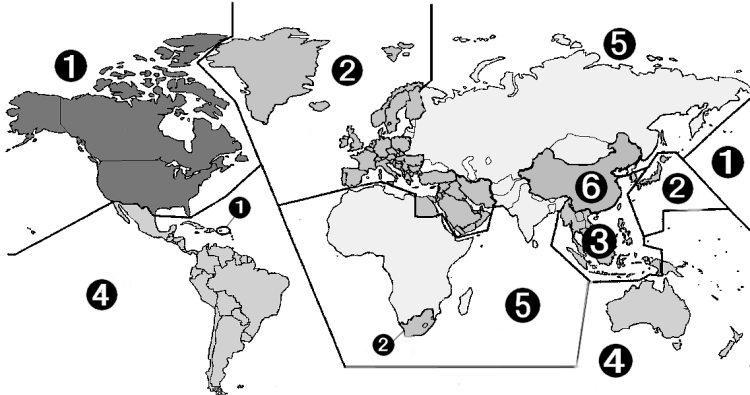
- ビデオ再生ソフトの使用方法については、付属の PowerProducer / PowerDVD クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルをご参照ください。
  マニュアルを読むには、セットアップメニューから［各社マニュアル／ガイド］をクリックし、［PowerDVD ガイド］をクリックしてください。
- DVD ビデオの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。
- 最初の CPRM 映像再生時には、インターネットへの接続と認証が必要です。次回の再生からは、インターネットへの接続は不要です。

機能表示の見かた

市販の DVD ビデオには下記のような表示があります。

機能表示	表示の意味（表示例の内容）
3	音声数（3種類の音声を収録）
1	字幕数（1種類の字幕を収録）
2	アングル数（2種類のアングルを収録）
16:9 LB	収録画面サイズ（ワイド画面で収録）
2	再生可能地域コード（日本向け「2」を収録）
複製不能	コピープロテクト（著作権保護ありで収録）
片面・1層ディスク	ディスク形式（片面1層構成のディスク）

■ 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD ビデオ（DVD ディスク）は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。

DVD ビデオを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本機のリージョンコード
- 再生ソフト（PowerDVD）のリージョンコード

異なるリージョンコードの、DVD タイトルを再生しようとした場合は、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し［OK］をクリックすれば、再生ソフト（PowerDVD）と、DVD タイトルの再生ドライブ（本機）は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更後に再生が始まります。

本機出荷時のリージョンコードは　2　に設定されています。
変更は合計5回まで行うことが可能ですが、出荷時に1回目を使用しますので、変更可能な回数は4回までとなります。

お知らせ
- **4回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。**
  不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

使う

DVD-Video 編集ソフトのインストール

■ 付属の DVD-Video 編集ソフトについて

本機には DVD-Video 編集ソフトとして、9種類のメディア（CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW, +R/RW, +R DL）と、CPRM で著作権保護された映像にも対応した CyberLink 社製 PowerProducer が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。
インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD-Video 編集ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。

お知らせ

- インストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。
- CPRM への対応には、インターネットへの接続と認証が必要です。（一度認証すれば、以降はインターネットへの接続は不要）

インストールするには

1 付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

PowerProducer のインストール

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の［Asmenu.exe ］をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

使う

2 ［PowerProducer］をクリックする

PowerProducer のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 インストールが終了したら、［終了(X)］をクリックし、パソコンを再起動する

DVD-Video 編集ソフトが使用できるようになります。

使用するには

タスクバーから［スタート］→［すべてのプログラム］→［CyberLink PowerProducer］→［PowerProducer］を選択してください。

お知らせ

- DVD-Video 編集ソフトの使用方法については、付属の PowerProducer / PowerDVD クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルなどをご参照ください。
  マニュアルを読むには、セットアップメニューから［各社マニュアル／ガイド］をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。
- PowerProducer は著作権保護が付加されたディスクのコピーには対応していません。
- 本機で作成した DVD-R DL、+R DL のディスクをご使用の場合は、DVD-R DL、+R DL での再生に対応した DVD ビデオレコーダーやプレーヤーをご使用ください。
- PowerProducer で +RW メディアに書き込む場合、インジケーターは自動的なフォーマット中は緑色/オレンジ色の交互点灯し、記録中はオレンジ色点灯に変化します。

記録(書き込み)ソフトのインストール

■ 付属の記録(書き込み)ソフトについて

本機には記録(書き込み)ソフトとして、BHA 社製 B’s Recorder GOLD、B’s CLiP が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。
インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。

- **ライティングソフト .... B's Recorder GOLD(Security)**
  9種類のメディア(CD-R/RW、DVD-RAM、DVD-R/R DL/RW, +R/RW, +R DL)に対応した多彩な機能を持った記録ソフトで、新たにセキュリティ機能の CD/DVD 作成にも対応しています。
- **パケット記録ソフト .... B's CLiP**
  CD-RW、DVD-RW、+RW ディスクに、フロッピーディスクや DVD-RAM ディスクと同じような感覚でファイルを移動、保存、消去できます。DVDのRW メディアの場合は見かけ上、短時間でフォーマットが終了するバックグラウンドフォーマット(+RW)やクイックフォーマット(DVD-RW)にも対応しています。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンまたは他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
  (削除方法については、☞ 50ページをご参照ください。)
- 他社のパケット記録ソフトと重複してインストールすると、付属のパケット記録ソフトや DVD-RAM ドライバーが正常に動作しない場合があります。CD-R、DVD-R/R DL、+R、+R DL に対応していません。
- 記録(書き込み)ソフトのインストールは、DVD-RAM ドライバーのインストールが終了した後で行ってください。(☞ 33ページ)
- Windows XP で DVD-RAM ディスクをご使用いただく場合は、Windows XP の書き込み機能は 使用しない設定にしてください。

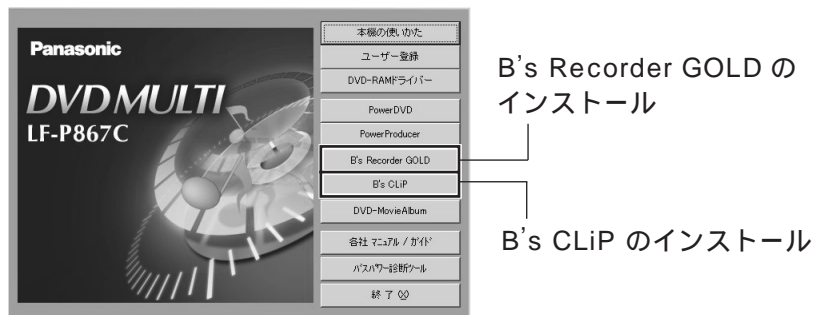
お知らせ

- インストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

使
う

インストールするには

1　付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

お知らせ

● 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の［Asmenu.exe ］をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

2　インストールするソフト［B's Recorder GOLD］または［B's CLiP］をクリックする

選択されたソフトのインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

お知らせ

● B's Recorder GOLD と B's CLiP を続けてインストールする場合は、途中での再起動は不要です。すべてインストールした後で再起動してください。

3　インストールが終了したら、［終了(X)］をクリックし、パソコンを再起動する

記録（書き込み）ソフトが使用できるようになります。

使用するには

■ B's Recorder GOLD の場合

B's Recorder GOLD を起動するには、デスクトップ上の［B's Recorder GOLD8 Security］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［すべてのプログラム］→［B.H.A］→［B's Recorder GOLD8 Security］→［B's Recorder GOLD8 Security］を選択してください。

お知らせ

- B's Recorder GOLD で +RW メディアに記録する場合、インジケーターは自動的なフォーマット中は緑色/オレンジ色の交互点灯し、記録中はオレンジ色点灯に変化します。

■ B's CLiP の場合

B's CLiP は、Windows を起動すると自動的に常駐します。
本機に未使用のディスク（メディア）や B's CLiP フォーマットされたディスク（メディア）をセットすると、B's CLiP が自動的に起動します。
未使用ディスク（メディア）の場合は B's CLiP でフォーマットしてご使用ください。

お願い

- Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能は使用しない設定にしてください。
  （タスクバーから［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックし、DVD-RAM ドライブ（本機）を右クリック、［プロパティ］→［書き込み］をクリックし、［このドライブでCD書き込みを有効にする］のチェックを外します）

お知らせ

- 記録（書き込み）ソフトの使用方法については、付属の B's Recorder GOLD/B's CLiP クイックガイドまたは、CD-ROM に収録の PDF などのマニュアルをご参照ください。マニュアルを読むには、セットアップメニューから［各社マニュアル／ガイド］をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。

+RW メディアの場合は見かけ上、短時間でフォーマットが終了するバックグラウンドフォーマットが使用できます。

バックグラウンドフォーマットについて

+RW メディアでは最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマットを行い使用可能状態にします。残りの領域はドライブが使用されていない間を利用して、自動的にフォーマットを継続しますが、このフォーマット処理の方法をバックグラウンドフォーマットと呼びます。
バックグラウンドフォーマット中でも、ディスクへの記録や取り出しが可能です。フォーマットが完全に終了していないディスク（メディア）では、ディスクの再挿入後にフォーマット処理を自動的に再開します。
本機では、バックグラウンドフォーマット中はインジケーターは緑色/オレンジ色に交互点灯します。

お知らせ

- バックグラウンドフォーマット中の、ディスク（メディア）の取り出しや、記録後の取り出しは、必ず B's CLiP のメディア取り出し操作を行ってください。
  B's CLiP で取り出し操作を行わないと、記録したデータの破損や再フォーマットが必要となります。

クイックフォーマットについて

DVD-RW メディアでは最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマットを行い、短時間（1～3分）で使用可能状態にします。
残りの領域はデータの記録時に必要な部分だけ、都度フォーマットを行いデータを記録しますが、このフォーマット処理の方法をクイックフォーマットと呼びます。
本機では、クイックフォーマット中はインジケーターは緑色/オレンジ色に交互点灯します。

お知らせ

- 記録後のディスク（メディア）の取り出しは、必ず B's CLiP のメディア取り出し操作を行ってください。
  B's CLiP で取り出し操作を行わないと、記録したデータの破損や再フォーマットが必要となります。

B’s CLiPでのメディア取り出しについて

通常 B’s CLiP では、タスクトレイの［B's CLiP インジケーター］を右クリックしドライブを選択して、［取り出し］を選択すると、ディスクを取り出すことができます。

DVD-RW/+RW でフォーマットが完全に終了していない場合は、［取り出し］を選択しても「RW メディアの各取り出し処理を選択してください」と表示されますので、どちらかを選択し［OK］をクリックしてください。

- **［このまま取り出す］**
  （データの記録・再生には、B’s CLiP がインストールされた環境とメディアに対応したドライブが必要な形式です。）
- **［DVD-ROM ドライブで読めるようにする］**
  （B’s CLiP がインストールされてなくても、メディアに対応したドライブがあればデータの再生は可能です。
  さらに、B’s CLiP がインストールされていれば、データの追記も可能な形式です。）

B’s CLiP で記録したディスクのデータを再生するためには、B’s CLiP または、使用フォーマットに対応した UDF リーダーがインストールされている必要があります。

■「B’s Recorder GOLD、B’s CLiP」について

インターネットのホームページより、「B’s Recorder GOLD、B’s CLiP」のバージョンアップなどの最新情報を入手できます。（☞ 80ページ）

DVD-RAM 対応編集ソフトのインストール

■ 付属の DVD-RAM 対応編集ソフトについて

本機には DVD-RAM 対応編集ソフトとして、松下電器産業（株）製 DVD-MovieAlbum が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。インストールおよび取り扱いについては、付属のクイックガイドをよくお読みください。
本ソフトは DVD-RAM 専用です。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンの DVD-RAM 対応編集ソフトや他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
- 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがあれば終了してください。
- DVD-MovieAlbum は DVD-RW（-VR）、+RW（+VR）には対応しておりません。

お知らせ

- インストールするには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

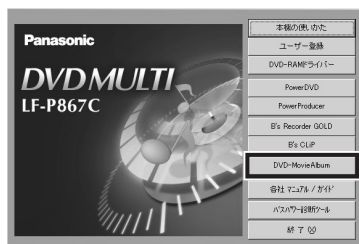
インストールするには

1　付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

お知らせ

- 自動的に起動しない場合は、マイコンピュータを開き CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、CD-ROM の中の［Asmenu.exe ］をダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。

使う

2 ［DVD-MovieAlbumSE］をクリックする

DVD-MovieAlbum のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 インストールが終了したら、［終了(X)］をクリックし、パソコンを再起動する

DVD-RAM 対応編集ソフトが使用できるようになります。

使用するには

タスクバーから［スタート］→［すべてのプログラム］→［Panasonic］→［DVD-MovieAlbumSE］→［DVD-MovieAlbumSE］を選択してください。

お知らせ

- DVD-RAM 対応編集ソフトの使用方法については、付属の DVD-MovieAlbum クイックガイドまたは、CD-ROM に収録のマニュアルをご参照ください。
  マニュアルを読むには、セットアップメニューから［各社マニュアル／ガイド］をクリックし、必要なマニュアルを選択してください。
- DVD-MovieAlbum は DVD-RAM 専用です。
  DVD-RW (-VR)、+RW (+VR) には対応しておりません。
- DVD-MovieAlbum は CPRM で著作権保護された映像の再生・編集や著作権保護が付加されたディスクのコピーには対応していません。
  CPRM で著作権保護された映像を扱うには、CPRM アップグレードキットの購入が必要です。

USB バスパワー診断ツールを使う

本機は AC アダプターでの使用以外に、パソコンの USB バスパワーでも使用できます。USB バスパワーで本機を使用する場合は、付属 CD-ROM の USB バスパワー診断ツールで USB ポートの電源供給能力を確認してください。

お願い

- USB バスパワー診断ツールを使用するには、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンしてください。
- USB バスパワー診断ツール使用時、パソコン上で他の操作をしないでください。
- 他のストレージ USB 機器（USB マウス、USB キーボードなどは除く）を同時に使用される場合、USB バスパワー診断ツールの結果に関わらず AC アダプターを接続した状態でご使用ください。

お知らせ

- USB ポートの電源供給能力によっては、USB バスパワーでの動作ができない場合があります。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- コンバインケーブルを使用するには USB ポートが2つ必要です。
- USB バスパワーで本機を使用する場合は、本機単独でのご使用をお勧めします。
- USB バスパワー診断ツール実行中にディスクカバーが開けられたり、ケーブルが取り外されたりした場合、診断ツールは終了します。
- パソコンによっては USB バスパワー診断ツールを使用した後で、パソコンの再起動が必要な場合があります。

USB バスパワー診断ツールを使う

1　AC アダプターを接続した状態で専用 USB ケーブルを使ってパソコンと本機を接続する

〔「AC 電源で使用する」(☞ 22ページ) をご参照ください。〕

2　付属の CD-ROM を本機にセットする

自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

3　[バスパワー診断ツール] をクリックする

USB バスパワー診断ツールが起動します。

4　画面の指示に従って操作します

(『本機から AC アダプターを抜いてください。』と表示されたら、
AC アダプターを抜き、[テスト] をクリックしてください。)

5　テストが終了すると診断結果が表示されます

■『接続されたケーブルで使用可能です。』と表示されたら、
そのまま USB バスパワーでご使用いただけます。

[終了] をクリックしてください。

■『接続されたケーブルでは使用できません。』と表示されたら、
AC アダプターでご使用いただくか、別売品のコンバインケーブル
(☞ 4ページ) をご使用ください。

[終了] をクリックしてケーブルを取り外し、パソコンを再起動
してください。

使う

お知らせ

- コンバインケーブルでの動作検証状況は、下記のDVDマルチホームページよりお確かめください。

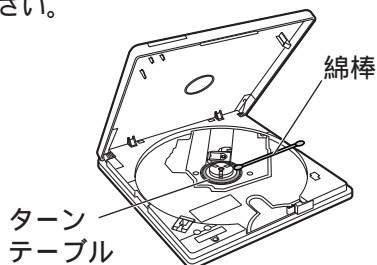
http://panasonic.jp/p3/pro/lfp867c.html

お手入れ

■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。

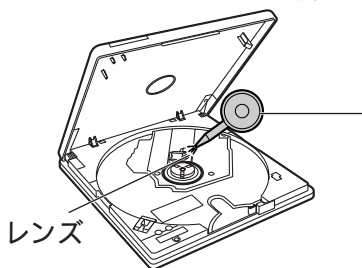
■ターンテーブルが汚れていたら

ターンテーブル（黒い部分）を綿棒（市販品）で円周状に軽くふいてください。

レンズにはふれないでください。

■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。

■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。

ディスクタイプのレンズクリーナーのご使用は、故障の原因となる場合があります。

お願い

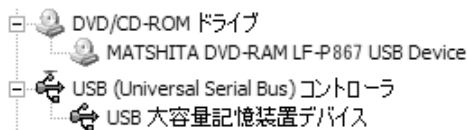
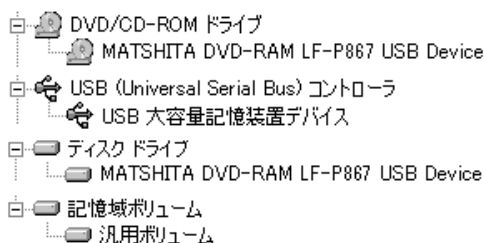
- レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。
- DVD-RAM ディスクには、ディスククリーナー LF-K200DCJ1 をご使用ください。

故障かな!? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 81ページ) をご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	**ACアダプターが正しく接続されていますか?** ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。ACアダプターの電源コードをコンセントから抜き、2〜3分放置後再度コンセントに差してください。
	ケーブルが正しく接続されていますか? ● 正しく接続されているかご確認ください。☞ 22ページ
	USBバスパワーでご使用ですか? USBバスパワーでご使用の場合は、USBバスパワー診断ツールでUSBポートの電源供給能力を確認してください。☞ 63ページ ● USBポートによっては電源供給能力が異なる場合があります。ポートを変えてお試しください。
	パソコンへのセットアップを行いましたか? ● パソコンのセットアップ(DVD-RAMドライバーのインストール)を行ってください。☞ 33ページ ● インターフェースカードをご使用の場合は、各社の最新ドライバーをご使用ください。☞ 32ページ
	正常なケーブルの取り外しをしましたか? 本書記載の手順(☞ 37ページ)に従わなかった場合、ドライブアイコンが見えなくなる場合があります。パソコンを再起動してください。 ● Windows上で取り外し操作を行った後は、USBケーブルの抜き差しが必要です。抜き差しを行わないとドライブが正常に認識されません。

(次ページに続きます。)

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？
	お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。☞ 82ページ
	本機の電源が切れていませんか？
	パソコンを再起動してください。
	使用 OS が合っていますか？
	Windows XP / Windows 2000 で動作します。
	デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。 （OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。） **1 ［スタート］→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する** **2 ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（種類別）］を選択する** インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。 ● Windows XP の場合 DVD/CD-ROM ドライブ MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device USB (Universal Serial Bus) コントローラ USB 大容量記憶装置デバイス ● Windows 2000 の場合 DVD/CD-ROM ドライブ MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device USB (Universal Serial Bus) コントローラ USB 大容量記憶装置デバイス ディスク ドライブ MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device 記憶域ボリューム 汎用ボリューム

こんなときには	ここをお調べください
2 **DVD-RAM ディスクが認識されない 記録できない**	**DVD-RAM ドライバーはインストールされていますか？** Windows XP 以外では、DVD-RAM ドライバーがインストールされていない場合、CD-ROM として認識されています。DVD-RAM ドライバーを必ずインストールしてください。☞ 33ページ
	正しいドライブアイコンにアクセスしていますか？ Windows 2000 では、ドライブアイコンが 2 つ表示されますので、使用するディスクに合わせて選択してください。☞ 36ページ
	ディスクにライトプロテクトが設定されていませんか？ ライトプロテクトの設定をご確認ください。 ☞ 45ページ
	フォーマットされていますか？ ● 目的に適したフォーマットを選択してください。☞ 41ページ ● B's Recorder GOLD でご使用の場合、ディスク（メディア）を消去してご使用ください。 ● DVD-MovieAlbum でご使用の場合、UDF 2.0 でフォーマットしたものをご使用ください。
	本機が対応しているディスクをお使いですか？ 2.6 GB ディスクへの記録には対応していません。 ☞ 15ページ

（次ページに続きます。）

こんなときには	ここをお調べください
2 **DVD-RAM ディスクが認識されない 記録できない**	**ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？** ディスクが汚れたり傷ついたりすると、記録・再生ができない場合があります。 ●お手入れしてください。☞ 17、65ページ ●「ファイルのコピーやフォーマットができないとき」をご参照ください。☞ 47ページ
	再生専用のディスクをお使いになっていませんか？ ●本機とB's Recorder GOLD との組み合わせで記録した DVD-RAM ディスクは、再生専用ディスク（メディア）となります。
3 **ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）**	**本機が動作中になっていませんか？** ●ディスクにデータの記録中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。記録が終了するのをお待ちください。 ●DVD-MovieAlbum で本機を使用している場合は、DVD-MovieAlbum を終了してください。 ●B’s CLiP をご使用の場合には、タスクトレイに表示されているインジケータにポインタを合わせて右クリックし、［取り出し］を選択してください。ディスクの［取り出し］を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください。☞ 27ページ
4 **本機、ACアダプターなどが温かい**	**故障ではありません。** 異常に高温になる場合は、AC アダプターの電源コードを外し、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。 ☞ 82ページ、裏表紙

こんなときには	ここをお調べください
5 正常な記録ができない	ご使用のメディアや記録（書き込み）方式は正しいですか？ ● Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の記録（書き込み）機能は使用しない設定にしてください。 ● 「こんな疑問や質問があったら」（☞ 72ページ）および記録（書き込み）ソフトの説明書をご参照ください。
6 ディスクを入れたのに音とびしたり、データの記録・再生ができない	ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？ ディスクの向きをご確認ください。☞ 25ページ
	ディスクまたは本機のレンズが汚れていませんか？ お手入れしてください。☞ 65ページ
	ディスクに傷がありませんか？ 本機に異常がないことを確かめるために、別のディスクに取り替えてみてください。
	ゴミが本機のターンテーブルの上に付着していませんか？ お手入れしてください。☞ 65ページ
	本機やディスクが結露していませんか？ ディスクを取り出して約1時間放置してください。
	本機対応のディスクを使用していますか？ お使いのディスク（メディア）をご確認ください。 ☞ 13、85、86ページ

	こんなときには	ここをお調べください
7	音が聞こえない	パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本機で音楽 CD を再生する場合は、デジタル再生を「有効」に設定する必要があります。 デジタル再生は「有効」に設定されていますか？
		お使いのパソコンの取扱説明書をご参照のうえ、デジタル再生を「有効」に設定してください。
		パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？ また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？
		パソコン側の音量ボリュームを調整してください。
8	DVD-R/R DL、+R、+R DL、DVD-RW、+RW ディスクが再生できない	ご使用の DVD ディスク（メディア）の形式や記録（書き込み）方式は正しいですか？
		● 本機で使用できるディスク（メディア）記録方式は、下記ページをご参照ください。 ☞ 13〜15、48、86ページ ● B's Recorder GOLD で追加記録した DVD-R/R DL、+R、+R DL ディスクは、Windows XP や Windows 2000（SP3 以降）以外では、追加したデータは読めません。

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな!? と思ったら」を先にお読みください。
(☞ 66ページ)

■ 記録(書き込み)について

Q 記録途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

A メディアへ記録するためのデータがパソコンから送られてくるときに、そのデータが途中で途切れたりすると記録(書き込み)が失敗してしまう場合があります。
下記内容をお確かめください。

- 記録速度を変えてみる。(低速にする)
  パソコンの使用環境によっても使用可能な記録速度が変わる場合があります。
- ハードディスクのメンテナンスを行う。
  (スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- スクリーンセーバーを止める。
- Active Desktop を止める。
- ネットワーク接続をしない。

記録(書き込み)ソフトによっては、SmoothLink機能を個別に設定できるものがあります
(B's Recorder GOLD など)。
SmoothLink 機能が有効に設定されているかお確かめください。

Q 記録に失敗するのですが？

A 本機の推奨メディアをご使用ください。
合わせてご使用のメディアと記録速度をお確かめください。
- ディスク（メディア）は本機の推奨品をご使用ください。（☞ 85ページ）
- 記録速度については、「ディスクの種類と最大データ転送速度」をご参照ください。（☞ 15、16、86、87ページ）

Q 記録に時間がかかるのですが？

A BIOS で USB 1.1 / USB 2.0 の設定を切り替えて使用するパソコンがあります。
パソコンの取扱説明書をご参照のうえ、USB 2.0 でご使用ください。

A USB バスパワーでご使用の場合、記録速度は下がります。（☞ 87ページ）

A ご使用のメディアによっては、指定の記録速度で記録できない場合があります。

Q 記録前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A ディスク（メディア）とハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、ディスク（メディア）に記録したときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。
また、記録（書き込み）モードによっては、記録するデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q オリジナルのベスト版音楽 CD を作成したいのですが？

A それぞれの音楽 CD から WAV ファイルとしてハードディスクに取り込み、それを付属の記録（書き込み）ソフトを使って記録します。
詳しくは、付属の記録（書き込み）ソフトのマニュアルをご参照ください。

Q 複数のドライブ、または複数の記録(書き込み)ソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで記録するようにしてください。
追記する前のデータが読めなくなったり、本機およびその他のドライブでデータの再生・記録が正常にできなくなる場合があります。

Q パソコンにいくつもの記録(書き込み)ソフトをインストールしたままで記録できますか？

A 以下の場合、正常に記録できないことがあります。
- 複数の記録(書き込み)ソフトが同時に起動されている。
〔常駐するタイプの記録(書き込み)ソフト含む〕
- バージョンの違う記録(書き込み)ソフトがインストールされている。

Q パソコンのBIOS 設定を変更する必要がありますか?

A BIOS で USB 1.1 /USB 2.0 の設定を切り替えて使用するパソコンがあります。
パソコンの取扱説明書をご参照のうえ、USB 2.0 でご使用ください。

Q パソコン内蔵ドライブから、音楽データ(CD-DA 形式)などをオンザフライで記録ができません

A パソコン内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ(CD-DA 形式)などを高速再生できないものがあります。

- 本機を使用して、パソコンのハードディスクドライブにデータを取り込んで、記録(書き込み)を行ってください。詳しくは、記録(書き込み)ソフトのマニュアルをご参照ください。
- ハードディスクのメンテナンスを行ってください。(スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- 記録(書き込み)ソフトの SmoothLink 機能がON に設定されているかご確認ください。
(インストール直後は、ON に設定されています。)

■ 再生（読み込み）について

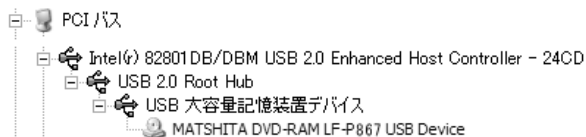
Q 最高速で再生できないのですが？

A USB2.0 に設定されているかご確認ください。
デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

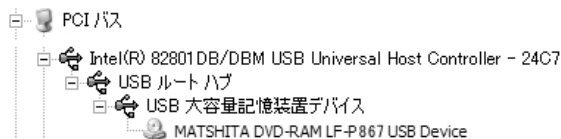
1. **［スタート］→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する**
2. **［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（接続別）］を選択する**

インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。

USB2.0 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(r) 82801DB/DBM USB 2.0 Enhanced Host Controller - 24CD
USB 2.0 Root Hub
USB 大容量記憶装置デバイス
MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device

通常 **Enhanced Host Controller** に接続されます。

USB1.1 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller - 24C7
USB ルート ハブ
USB 大容量記憶装置デバイス
MATSHITA DVD-RAM LF-P867 USB Device

通常 **Universal Host Controller** または
Open Host Controller に接続されます。

Q 最高速で再生できないのですが？

A ディスクによっては最高速で再生できないものがあります。

- 規格外ディスクの場合は、最高速では再生できない場合があります。
- USB バスパワーでご使用の場合、再生速度は下がります。（☞ 87ページ）

Q 本機で記録したディスク（メディア）は、他のドライブでも再生できますか？

A
- **CD-R/RW の場合**
  マルチリードに対応したドライブをご利用ください。
  一部の CD-ROM ドライブでは、再生できない場合があります。
- **DVD-R/RW、+R/RW の場合**
  DVD-R/RW、+R/RW に対応したドライブをご利用ください。
  〔記録（書き込み）のフォーマット（マルチボーダーなど）に対応していることが必要な場合もあります。〕
- **DVD-RAM の場合**
  DVD-RAM に対応したドライブとソフトが必要です。
- **DVD-R DL、+R DL の場合**
  DVD-R DL、+R DL に対応したドライブでないと再生できない場合があります。

Q 他のドライブで記録されたディスク(メディア)は再生できますか?

A 通常は再生できます。
ただし、いくつものドライブで記録されたものは、再生できない場合があります。
また、一部のドライブによって記録されたメディアは、再生できない場合があります。

Q 音楽データ（CD-DA 形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属のライティングソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本機よりドラッグ＆ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

A コピープロテクト（コピーコントロール）された CD からのデータ取り込みには対応していません。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本機が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本機および、再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

A DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。
下記の方法でご使用ください。

- はじめに PowerDVD を起動して本機にディスクをセットしてください。
- PowerDVD の［ドライブ／プレイモードの選択］から選択して、再生してください。

Q 本機で記録したディスク（メディア）は、DVDプレーヤーやDVD ビデオレコーダーでも再生できますか？

A
- **DVD-RAM、DVD-R/RW、+R/RW の場合**
  再生する機器が、記録時の映像・音声の圧縮形式やフォーマット〔DVD-Video、DVD-RAM（-VR）、+RW（+VR）など〕に対応した機器であれば再生できます（すべての機器で再生を保証するものではありません）。
  ただし、ディスクの状態や機器の状態（レンズなどの汚れなど）によっては再生できない場合があります。
- **DVD-R DL、+R DL の場合**
  DVD-R DL、+R DL のディスクをご使用の場合は、DVD-R DL、+R DL での再生に対応した DVD ビデオレコーダーや DVD プレーヤーをご使用ください。

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インターフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れることがあります。
  USB2.0 でお使いください。
- 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。
  パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。

■ DVD ビデオ作成について

Q ビデオデータを取り込んだ後で記録を開始するまでに時間がかかるのですが？

A 取り込んだビデオデータによっては、記録する前に再エンコードされる場合があります。
再エンコード処理を行うと、記録するまでに時間がかかります。

■ その他

**Q 付属以外の記録（書き込み）ソフトで、本機が認識されません。
どうしてですか？**

A 記録（書き込み）ソフトが、本機に対応しないとご使用いただけません。

Q 縦置きで使用できますか？

A 縦置きでの動作は保証されておりません。
故障の原因となる場合があります。
水平に設置された状態でご使用ください。

Q USB バスパワーで動作中に AC アダプターを接続してもいいですか？

Q AC 電源で動作中に AC アダプターを外してもいいですか？

A インジケーターがオレンジ色点灯中は
AC アダプターを抜き差ししないでください。
本機は、ディスクカバーの開閉時に、動作電源（AC 電源 / USB バスパワー）を認識し自動的に切り替えます。

製品サポートのご案内

本機の製品情報・ユーザーサポートやユーザー登録について

本機の製品情報やユーザーサポートに関する情報やユーザー登録をインターネットでご案内していますので、下記アドレスでご利用ください。

■ 製品情報およびユーザーサポート

（ユーザーサポートに関しては、82ページもご参照ください。）

・**http://panasonic.jp/p3/**

■ ユーザー登録（ユーザー登録をしていただきますよう、お願いいたします）

（付属の CD-ROM の［ユーザー登録］からもご利用いただけます。）

・**http://panasonic.jp/support/p3/usr.html**

本機付属のアプリケーションに関しては、下記に直接お問い合わせをお願いします。

PowerDVD / PowerProducer について

サイバーリンク株式会社（CyberLink Inc.）

ホームページ　　　　：http://jp.gocyberlink.com/
オンラインサポート：http://support.transdigital.co.jp/
カスタマーサポート：TEL　：(03) 5339−6996
FAX　：(03) 5339−7517

月〜金 10：00 〜13：00　　14：00 〜17：00
（土・日・祝祭日・休業日を除く）
※ ご回答には、2 〜 3 営業日お時間をいただく場合がございます。

B's Recorder GOLD / B's CLiP について

株式会社ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター

ホームページ　　　　：http://www.bha.co.jp/
オンラインサポート：http://help.bha.co.jp/
ユーザーサポート　：TEL　：(06) 4861−8234
（B's Recorder GOLD / B's CLiP 専用回線）
FAX　：(06) 6378−3336

月〜金 10：00 〜12：00　　13：00 〜17：00
（夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く）
※ ご回答には、2 〜 3 営業日お時間をいただく場合がございます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などで
お困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「P³カスタマーサポートセンター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブルDVD MULTIドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

66ページの「故障かな!? と思ったら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず接続ケーブルを抜いて、コンセントから電源コードを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ポータブルDVD MULTI ドライブ
品　番	LF-P867C
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

- ご連絡いただく場合は【サポート依頼書】もあわせてご参照ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

商品についてのお問い合わせは

P³カスタマーサポートセンター

電話 **03-3436-1888**
FAX **03-3436-1889**
10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）

最新の情報をインターネットでご覧ください。
http://panasonic.jp/p3

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209
静岡 静岡市駿河区西島765 ☎(054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
岡山 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
山口 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253
高知 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-3644

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

P³カスタマーサポートセンター行　（FAX　03−3436−1889）

【サポート依頼書】

整理番号：

お問い合わせ日	年　月　日	品　番	LF-P867C
お買い上げ日	年　月　日	製造番号（11ケタ）	
フリガナ お名前			ユーザー登録：済 ／ 未
ご住所（ご連絡先） □ご自宅 □勤務先	☎　（　） FAX　（　） E-mail　@		
購入店名			

ご使用中のパソコンの機種（メーカー）名	
メーカー名	機種名

ご使用中の OS の名称とバージョン（いずれかに○をつけてください）	
Windows XP （Home Edition / Professional）（初期導入 / アップグレード）	Windows 2000 （初期導入 / アップグレード）

ご使用中のおもな周辺機器	メーカー名	形式名

どのような状況になりましたか？（エラーメッセージ、「故障かな!? と思ったら」でチェックした項目番号など、できるだけ詳しくお書きください。）

※ 本用紙はプリントアウトしてご使用ください。

推 奨 品

下記の推奨品をお買い求めの際には、販売店に品名を指定してください。

ディスク	メーカー
DVD-RAM	松下電器産業(株)、日立マクセル(株)
DVD-RW	日本ビクター(株)、三菱化学メディア(株)
DVD-R（for General）	松下電器産業(株)、太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)
DVD-R DL	三菱化学メディア(株)
+R	(株)リコー、三菱化学メディア(株)
+R DL	三菱化学メディア(株)
+RW	三菱化学メディア(株)
CD-R	太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)、日立マクセル(株)
CD-RW CD-RW（High Speed） CD-RW（Ultra Speed）	三菱化学メディア(株)

DVD-RAM ディスク

松下電器産業(株)製ディスク

LM-HB 94 シリーズ　（1枚）（9.4 GB）（TYPE 4）
LM-HB 47 シリーズ　（1枚）（4.7 GB）（TYPE 2 / TYPE 4）
LM-HC 47 シリーズ　（1枚）（4.7 GB）（カートリッジなし）

仕　様

<table>
<tr><td>使用環境</td><td>温度 5 ℃～35 ℃　湿度 20 %～85 %（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>保存環境</td><td>温度 －20 ℃～55 ℃ 湿度 15 %～85 %（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>本体外形寸法</td><td>135（幅）×135.6（奥行き）×14.8（高さ）mm</td></tr>
<tr><td>本体質量</td><td>約 290 g</td></tr>
<tr><td>電　源</td><td>AC アダプター　：KX-WZ712（付属）
AC 100－240 V、50/60 Hz
USB バスパワー：専用 USB ケーブル（付属）、
コンバインケーブル（別売）</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>AC アダプター　：約13 W（AC 100 V 動作時）
（AC アダプター単体：約1 W）
USB バスパワー：約 5 W（USB バスパワー動作時）</td></tr>
<tr><td>対応インターフェース</td><td>USB2.0 および USB1.1（USB2.0 での動作を推奨します）</td></tr>
<tr><td>専用 USB ケーブル</td><td>ケーブルの長さ　：約 0.5 m（コネクターを含む）
質量　：約 30 g</td></tr>
<tr><td>バッファー容量</td><td>2 MB</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応 フォーマット</td><td>CD-DA（音楽 CD）、CD TEXT、CD-EXTRA、
CD-ROM（Mode 1、Mode 2 Form 1）、
CD-ROM XA（Mode 2 Form 2）、
Photo CD*1（マルチセッション 対応）、Video CD</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R（-VR）、
DVD-RAM（-VR）、DVD-RW（-VR）、+RW（+VR）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">対応 ディスク*2</td><td>DVD-RAM（120 mm、80 mm）*3
両面　9.4 GB、2.8 GB
片面　4.7 GB、2.6 GB*4、1.4 GB</td></tr>
<tr><td>DVD-R（for General、Ver 2.0/2.1）4.7 GB
DVD-R DL（Ver 3.0）8.5 GB
DVD-RW（Ver 1.1/1.2）4.7 GB
+R（Ver 1.0/1.1/1.2）4.7 GB
+R DL（Ver 1.0）8.5 GB
+RW（Ver 1.1/1.2）4.7 GB</td></tr>
<tr><td>CD-R、CD-RW、High Speed CD-RW、
Ultra Speed CD-RW
（いずれも650 MB/700 MB）</td></tr>
</table>

*1 Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

*2 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。
両面ディスクは、同時に両面の記録・再生はできません。

*3 カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。

*4 記録には対応していません。

		電　源	AC アダプター	USB バスパワー
連続データ転送速度*7 (USB 2.0 の場合) 1倍速の転送レート DVD メディア： 1350 KB/s CD メディア： 150 KB/s	記録*6	DVD-RAM	最大 5 倍速、3 倍速、2倍速	2 倍速
		DVD-R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、 最大 4 倍速、2 倍速、1 倍速	最大 4 倍速、 2倍速、1倍速
		DVD-R DL*5	2 倍速	2 倍速
		DVD-RW	最大 4 倍速、2 倍速、1 倍速	2 倍速、1倍速
		+R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、 最大 4 倍速、2.4 倍速	2.4 倍速
		+R DL	2.4 倍速	
		+RW	最大 4 倍速、2.4 倍速	
		CD-R	最大 24 倍速、最大 16 倍速、 最大 12 倍速、8 倍速、4 倍速	4 倍速
		CD-RW	4 倍速	4 倍速
		CD-RW (High Speed)	10 倍速、8 倍速、4 倍速	
		CD-RW (Ultra Speed)	10 倍速、8 倍速	−
	再生	DVD-RAM	最大 5 倍速、3 倍速、2 倍速 (4.7 GB) 1 倍速 (2.6 GB)	2 倍速 (4.7 GB) 1 倍速 (2.6 GB)
		DVD-R, +R	最大 8 倍速	最大 4 倍速
		DVD-R DL, +R DL	最大 6 倍速	
		DVD-RW, +RW		
		DVD-Video	最大 4 倍速	
		DVD-ROM (Single)	最大 8 倍速	
		DVD-ROM (Dual)	最大 6 倍速	
		CD-ROM	最大 24 倍速	最大 12 倍速
		CD-R		
		CD-RW		
		CD-DA	最大 20 倍速	
シークタイム (AC 電源/自社測定ソフトによる)		DVD-ROM	180 ms	
		CD-ROM	150 ms	
リージョンコード設定		出荷時設定	2（日本地域に設定）	
		設定変更回数	4回（4回目以降は変更不可）	
対応OS		Windows XP、Windows 2000		
対応パソコン*7		USBポートを搭載した DOS/Vパソコン（☞ 19ページ）		

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

*5 DVD-R DL での追記（マルチボーダー記録）には対応していません。
*6 記録速度に対応したメディアをご使用ください。
（メディアによっては指定した速度で記録できない場合もあります。）
*7 データ転送速度はパソコンの性能（システム構成）に依存し低下する場合があります。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約書は、お客様と松下電器産業株式会社との間の契約書です。
付属されているソフトウェアプログラム（本ソフトウェアといいます）の袋を開封する前に、この契約の条件を十分にご確認ください。
袋を開封されますと、お客様はこの契約に同意したことになります。
お客様がこの契約に同意できない場合には、未開封のままの袋と共に購入いただいたポータブルDVD MULTIドライブ 一式をご購入店へ返品ください。
お支払い済の購入代金を返却致します。
ただし、袋を開封されたり、部品を遺失されますと、購入代金は返却致しかねますので、ご了承ください。

１著作権

弊社は、パナソニック コミュニケーションズ株式会社あるいはその許諾者（許諾者と総称します）が著作権を有する本ソフトウェアに関し、お客様へのライセンスに必要な権利の許諾を受けております。
ポータブルDVD MULTIドライブの購入により、お客様にはこの契約中で許諾される以外は何らの権利も発生せず、それらの権利のすべては許諾者あるいは弊社に帰属します。

２使用条件

（１）お客様は、１台のコンピューター上でのみ本ソフトウェアを使用することができます。
ネットワークで使用するために、ネットワークサーバーに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されません。

（２）お客様は、本ソフトウェアあるいは付属する印刷物を複製したり、第三者にその許諾をすることはできません。
但し、（ａ）バックアップ用あるいは保管用として必要な本数、本ソフトウェアをコピーすること、及び（ｂ）お客様が本ソフトウェアのオリジナルをバックアップ用あるいは保管用とすることを条件として、１台のコンピューターのハードディスクに本ソフトウェアをインストールすることは許諾されます。

（3）お客様は、本ソフトウェアを第三者に貸したり、リースすることはできません。
但し、お客様がこの契約書と共に本ソフトウェアのすべてのコピー、付属する印刷物並びにポータブルDVD MULTIドライブを同時に譲渡し、譲渡を受ける方がこの契約の条件に同意した場合に限り、この契約に基づくお客様の権利を譲渡することはできます。

（4）お客様は、本ソフトウェアをリバース・エンジニア、逆コンパイルあるいは逆アセンブルしてはなりません。

（5）お客様は、この使用条件に規定された場合を除き、本ソフトウェアの全部あるいはその一部を使用、複製、修正、変更あるいは譲渡してはなりません。

（6）本契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明書となりますので大切に保管してください。

3 契約期間

お客様は、いつでも、本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄することでこの契約を終結することができます。
また、お客様がこの契約書の条件に違反した場合にも、この契約は終結します。この場合、お客様は本ソフトウェア、付属の印刷物並びにこれらの複製物のすべてを破棄していただくものとします。

4 保証

（1）弊社（その許諾者を含む）は、お客様あるいは他の第三者に対して、一切の明示あるいは黙示の保証を行いません。
また本ソフトウェアの機能がお客様の要求に合致していることも、本ソフトウェアに欠陥がないことも一切保証致しません。

（2）弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することあるいは使用できなかったことから生じる偶発的あるいは間接的な損害、または受けられるべき救済の損失、得べかりし利益の損失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。

弊社が責任を負う場合は、いかなる場合であってもその金額は、お客様によるポータブルDVD MULTIドライブのお支払い済みの購入代金を超えないものとします。ただし、弊社の故意または重過失に基づく場合はこの限りではありません。

用語解説

BIOS **(バイオス)**	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD-EXTRA	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。 COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO や CD EXTRA TM のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ記録可能なコンパクトディスクです。一度記録したデータの消去や書き換えはできません。記録(書き込み)モードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、記録したデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度記録や書き換えが可能です。
CPRM	Content Protection for Recordable Media の略で著作権保護技術のひとつで、録画を制限します。 デジタル放送にも適用され、1回だけ録画可能です。 CPRMに対応した機器や再生ソフトとメディア(DVD-RAM, DVD-RW)でないと録画や再生ができません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc(デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD MULTI RECORDER	DVD機器の互換性を保証する規格で、「DVD MULTI RECORDER」のロゴを持つドライブなら、DVD-RAM/DVD-R/DVD-RWの各フォーマットでの記録ができます。
DVD-R	DVDフォーラムによって規格化された、追記可能な1回記録型のDVDメディアで「for General(民生用)」と「for Authoring(業務用)」があります。

用語	解説
DVD-R DL (Dual Layer)	DVD フォーラムによって規格化された、片面で2層の記録層を持った追記可能な1回記録型のメディアで、DVD-R の約2倍（8.5 GB）の記録容量を持っています。
DVD-RAM	DVDフォーラムによって規格化された、繰り返し記録再生ができるDVDメディア〔4.7 GB（12 cm）、1.4 GB（8 cm）〕で、「for Data（パソコン用）」、「for Video（録画用）」があり、それぞれカートリッジありと無しがあります。
DVD-RW	DVDフォーラムによって規格化された、繰り返し記録再生ができる DVD メディアで「for Data（パソコン用）」と「for Video（録画用）」があります。
DVD-Video（ビデオ）	DVDフォーラムによって規格化された、DVD 仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したもので、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
DVD ビデオレコーディング規格	DVDフォーラムによって規格化された、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。「VR 規格」「VR 形式」とも呼ばれ、単に「VR」「-VR」と表記される場合もあります。（ -VR と +VR は互換性はありません。）
High Speed CD-RW、CD-RW（High Speed）	4倍速から10倍速の記録に対応した、CD-RW のメディアです。記録には、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 のマークが表示されています。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像（写真など）が保存できます。
+R	+RW アライアンスによって策定された、追記可能な1回記録型のメディアで、DVD-R と同じ記録容量を持っています。

用語	説明
+R DL (Double Layer)	+RW アライアンスによって策定された、片面で2層の記録層を持った追記可能な1回記録型のメディアで、+R の約2倍（8.5 GB）の記録容量を持っています。
+RW	+RW アライアンスによって策定された、繰り返し記録再生ができるメディアで DVD-RW と同じ記録容量を持っていますが、互換性はありません。データを記録する場合は、フォーマット実行後データを記録します。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された「バッファアンダーランエラー（転送速度エラー）」を回避することができる技術です。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW）に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW、CD-RW（Ultra Speed）	8 倍速から24 倍速の記録に対応した、CD-RW のメディアです。記録には、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 のマークが表示されています。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で、USB1.1 の約40倍となります。
USB バスパワー	パソコンのUSB ポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。
-VR 規格、-VR フォーマット	DVDフォーラムによって規格化された、ビデオレコーディング規格で、ビデオデータを記録し編集できます。単に -VR または V R とも呼ばれ、DVD-Video 形式や、+VR 形式とは互換性がありません。 DVD-RAM やDVD-RW に使用します。

+VR 形式、 +VR フォーマット	+RW アライアンスによって策定された、ビデオ レコーディング方式で、ビデオデータを記録し編集できます。単に +VR とも呼ばれ、+RW メディアに使用しますが -VR とは互換性がありません。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアを パソコンのシステムに登録する作業をいいます。
エンコード	動画データを DVD ビデオ規格に適した MPEG ファイルに変換処理を行うことです。パソコンの CPU を使うソフトウェアエンコードと専用 IC を使うハードウェアエンコードがあります。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、ディスク（メディア）に記録する方式です。大きなイメージ ファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なくて済みます。
記録予備領域 （交替領域）	DVD-RAM ディスクの記録領域でユーザー管理領域（使用領域）外に、記録時に記録状態の悪いセクターを確認し、データを退避させる予備の記録領域です。
コンバインケーブル	コンバインケーブルとは、パソコンの USB ポート 2 つから電源を周辺機器に供給するケーブルです。
再生可能地域コード （リージョンコード）	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており 地域ごとに管理されています。 日本の地域コードは「2」です。
ディスク アット ワンス （Disc at once）	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に記録する方法です。追加記録はできません。
トラック アット ワンス （Track at once）	ひとつのトラックを、一度に記録する方法です。 CD-EXTRA の作成などに利用されます。
パケットライティング （Packet writing）	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で記録する方法です。

バックグラウンドフォーマット	+RW メディアを使用する際に、最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマット処理を行い使用可能にします。残りの記録領域をドライブが使用されていない間を利用して、自動的にフォーマットを継続するフォーマット処理の方法です。
バッファアンダーラン **または** **バッファアンダーランエラー**	ドライブのバッファーメモリー内のデータが記録中に、瞬間的に空になってしまい、記録が中断されてしまう現象で、記録エラーとなります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の記録を行い、セクター（ディスクでデータを管理する単位）レベルでのアクセスを可能にする動作のことです。
ホットプラグ	周辺機器をパソコンの電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
マルチセッション **（Multisession）**	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。 +R でも採用され、この場合は追記が可能になります。
マルチボーダー **（Multiborder）**	DVD-R において、CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能を、「マルチボーダー」と呼び、DVD-R で追記を可能にする方式です。
論理フォーマット	初期化（イニシャライズ）とも呼びます。DVD-RAM ディスクがパソコンで記録・再生できるよう、システムの各種管理情報をディスクに記録することです。

さくいん

— アルファベット順 —

必要なとき

— 五十音順 —

この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。

This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.

此产品仅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服務。

愛情点検　長年ご使用のポータブルDVD MULTIドライブの点検を！

こんな症状はありませんか		▶	
	● AC アダプターのケーブルやプラグが異常に熱い ● 煙が出たり、異常な臭いや音がする ● 水や異物が入った ● その他の異常や故障がある		このような症状の時は、故障や事故の防止のため、接続ケーブルを抜いて、コンセントから電源コードを抜き、販売店に点検をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	LF-P867C
販売店名	☎（　　）　―		
お近くの当社修理相談窓口	☎（　　）　―		

松下電器産業株式会社

パナソニック コミュニケーションズ株式会社　デバイスカンパニー

〒865-0193　熊本県玉名郡菊水町高野1080

Panasonic®　ポータブルDVD MULTIドライブ　LF-P867C　取扱説明書